（様式1）

令和　8　年度

工　事　（　　）　設　計　書

（工 事 名）　　令和6年災第2号市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その2）

（工事箇所）　　鳥取市　　瀬田蔵　　地内

課　　長	課長補佐兼 管理係長	保全係長	合　議	精　　査	設 計 者

令和　　年　　月　　日

鳥　　取　　市

（様式2）

工　事（　　）概　要

1.設 計 金 額　　円　　（内、消費税相当額　　円）

2.工　　期　　令　和　　年　　月　　日　～　令 和 9 年 10 月 5 日　（　　日間）

3.工 事 概 要

市道金沢瀬田蔵線（法面）		復旧延長	L=46.0m	
斜　面　土　工			N= 1式	
法　　面　　工	吹付枠工	ﾓﾙﾀﾙ・ｺﾝｸﾘｰﾄ	L= 1203.9m	
	ラス張り工		A= 1255m2	
	植生基材吹付工	厚3cm	A= 363m2	
	鉄筋挿入工	D19,L=4.0m	N= 224本	
鋼　管　杭　工	鋼管杭	φ318.5mm,t=16mm,SKK490	N= 23本	
仮　　設　　工			N= 1式	

4.変更請負額の算定

$$\text{変更落札額} = \frac{\text{変更前請負額(税込)}}{\text{変更前設計額（税込）}} \times \text{変更工事価格} = \quad \text{（千円未満切り捨て）}$$

変更消費税額 ＝　　×　10%　＝

変更請負額 ＝　　＋　　＝

鳥　　取　　市

総 括 情 報 表

事務所	51 鳥取市
設計書名	設計書　　当初　　07-******-00005-10
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1　実施単価
適用単価地区	03 鳥取市
単価適用日	00-08.08.10(0)
諸経費体系	1　公共
ファイル名	

	当　世　代	前　世　代		当　世　代	前　世　代
工種	07　砂防，地すべり				
現場環境改善費	00　率計上しない				
施工地域	19　補正なし				
契約保証区分	01　金銭保証（０．０４%）				
豪雪割増	01　豪雪割増あり				
工事価格端数処理	00　千円止め（土木）				
工期算定区分	02　算出しない				
ICT施工有無	00　ICT施工を使用しない				
週休二日補正係数	01　週休二日補正なし				

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
法面					X1000
斜面対策		一式			Y1D03　(ﾚﾍﾞﾙ1)
土工					Y2999　(ﾚﾍﾞﾙ2)
斜面土工					Y3999　(ﾚﾍﾞﾙ3)
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	149	m3			SPK25040001 00 A=1,B=5,E=8 単第0 -0001 表　080810
埋戻し(盛土) 土砂 上記以外(小規模)	149	m3			SPK25040020 00 A=5,B=1,D=1 単第0 -0002 表　080810
法面工					Y2999　(ﾚﾍﾞﾙ2)
上部法面補強工 鋼管杭～滑落崖					Y3999　(ﾚﾍﾞﾙ3)
吹付枠工 梁断面_300×300 [規]500m以上	601.1	m			SS000185　00 A=3,B=1,C=1 単第0 -0003 表　080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ラス張工 [規]1,000m2以上					SS000187　00 A=1,B=1,C=1
	387	m2			単第0 -0004 表 080810
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚3cm [規]500m2以上1,000m2未満					SS000271　00 A=1,B=2,D=1,E=2
	137	m2			単第0 -0005 表 080810
水切モルタル					VN001　00
	194.0	m			単第0 -0006 表 080810
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm					SPK25040118 00 A=1,B=1
	1.8	m2			単第0 -0007 表 080810
下部法面補強工 道路～鋼管杭					Y3999　(ﾚﾍﾞﾙ3)
吹付枠工 梁断面_300×300 [規]500m以上					SS000185　00 A=3,B=1,C=1
	602.8	m			単第0 -0003 表 080810
ラス張工 [規]1,000m2以上					SS000187　00 A=1,B=1,C=1
	511	m2			単第0 -0004 表 080810
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚3cm [規]500m2以上1,000m2未満					SS000271　00 A=1,B=2,D=1,E=2
	226	m2			単第0 -0005 表 080810
水切モルタル					VN002　00
	218.2	m			単第0 -0008 表 080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	1.8	m2			SPK25040118 00 A=1,B=1 単第0 -0007 表 080810
緑化法面工					Y3999 (ﾚﾍﾞﾙ3)
ラス張工 [規]1,000m2以上	357	m2			SS000187 00 A=1,B=1,C=1 単第0 -0004 表 080810
植生基材吹付工 厚3cm [規]500m2以上1,000m2未満	357	m2			SS000271 00 A=1,B=2,D=1,E=1 単第0 -0009 表 080810
鉄筋挿入工					Y3999 (ﾚﾍﾞﾙ3)
鉄筋挿入工 現場条件II [規]200m以上	224	本			SS000259 00 A=2,B=1,D=4.0,E=65,F=3.6,G=1,I=1,K=1,M=1 ,O=1,Q=3,S=1,V=1,X=1,Y=1 単第0 -0010 表 080810
削孔機械の上下移動	11	回			SS000261 00 単第0 -0012 表 080810
仮設足場の設置・撤去	649	空m3			SS000263 00 単第0 -0013 表 080810
鋼管杭工					Y2999 (ﾚﾍﾞﾙ2)

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭工(No.1・2・3・4・5)	5	本			VK001 00 単第0 -0014 表 080810
鋼管杭工(No.6)	1	本			VK002 00 単第0 -0018 表 080810
鋼管杭工(No.7)	1	本			VK003 00 単第0 -0021 表 080810
鋼管杭工(No.8・22)	2	本			VK004 00 単第0 -0024 表 080810
鋼管杭工(No.9)	1	本			VK005 00 単第0 -0027 表 080810
鋼管杭工(No.10)	1	本			VK006 00 単第0 -0030 表 080810
鋼管杭工(No.11)	1	本			VK007 00 単第0 -0033 表 080810
鋼管杭工(No.12)	1	本			VK008 00 単第0 -0036 表 080810
鋼管杭工(No.13)	1	本			VK009 00 単第0 -0039 表 080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭工(No.14)					VK010 00
	1	本			単第0 -0042 表 080810
鋼管杭工(No.15・17)					VK011 00
	2	本			単第0 -0044 表 080810
鋼管杭工(No.16)					VK017 00
	1	本			単第0 -0047 表 080810
鋼管杭工(No.18)					VK012 00
	1	本			単第0 -0049 表 080810
鋼管杭工(No.19)					VK013 00
	1	本			単第0 -0051 表 080810
鋼管杭工(No.20)					VK014 00
	1	本			単第0 -0053 表 080810
鋼管杭工(No.21)					VK015 00
	1	本			単第0 -0055 表 080810
鋼管杭工(No.23)					VK016 00
	1	本			単第0 -0057 表 080810
鋼管杭工天端処理					VK101 00
	23	箇所			単第0 -0060 表 080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付					KTPC00014 00
長期割引適用外	2	日			080810 D
ミニクローラクレーン運転					VK102 00
	23	日			単第0 -0063 表 080810
銅バンド φ318.5mm					FZK011 00
	1	個			080810
足場(地表) 傾斜地					SPK25040233 00 A=2
	808	空m3			単第0 -0064 表 080810
側溝清掃車運搬 運搬距離_7.0km超え14.0km以下					S1030031 00 A=2
	1.0	m3			単第0 -0065 表 080810
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
建設汚泥処分費 ㈲森本組					FF006 00
	1.0	m3			080810
仮設工					Y2999 (ﾚﾍﾞﾙ2)
足場(地表) 傾斜地					SPK25040233 00 A=2
	562	空m3			単第0 -0064 表 080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モノレール設置撤去工	1	一式			VV001 00 単第0 -0067 表 080810
＊＊直接工事費＊＊					
準備費					Z0005
立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込 傾斜角度15°以上	1	一式			VV231 00 単第0 -0071 表 080810
立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込 傾斜角度30°以上	1	一式			VV232 00 単第0 -0075 表 080810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下	24	t			SPK25040411 00 A=2,B=1,C=2 単第0 -0077 表 080810
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊	24	t			SPK25040412 00 A=2 単第0 -0078 表 080810
運搬工（幹） ダンプトラック運搬（１０ｔ） 吾妻商事（L=26.9km）	14	空m3			V0021 00 単第0 -0079 表 080810
運搬工（枝葉） ダンプトラック運搬（１０ｔ） 吾妻商事（L=26.9km）	1.5	m3			V0022 00 単第0 -0080 表 080810

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
運搬工（根株） ダンプトラック運搬（１０ｔ） 吾妻商事（L=26.9km）	4.0	m3			V0023　00 単第0 -0081　表　080810
立木売却費 木質バイオマス発電燃料加工施設	17	t			FF041　00 080810 8
枝葉売却費 木質バイオマス発電燃料加工施設	1.8	t			FF051　00 080810 8
伐根材処分費 吾妻商事（L=26.9km）	4.8	t			FF071　00 080810 9
技術管理費					Z0006
基本試験(引抜試験)	3	本			VN101　00 単第0 -0082　表　080810
共通仮設費					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

法面　内訳書

費目・工種・施工名称など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					

施 工 単 価 表

掘削　　SPK25040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比：　20.13%　　労務構成比：　71.97%　　材料構成比：　7.90%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
特殊運転手	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

埋戻し(盛土)　　SPK25040020　　単第0 -0002　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比：　8.87%　　労務構成比：　87.15%　　材料構成比：　3.98%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー　スタンド	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施 工 単 価 表

吹付枠工　　SS000185　　単第0 -0003　表

梁断面_300×300 [規]500m以上　　1　m　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付枠工　モルタル・コンクリート 梁断面　３００×３００	1.000	m			TS930
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=3　梁断面_300×300 C=1　-			B=1　[規]500m以上		

ラス張工　　SS000187

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

[規]1,000m2以上　　1　　m2　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付枠工 ラス張工	1.000	㎡			TS934
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	m2			
A=1 [規]1,000m2以上 C=1 -			B=1 -		

植生基材吹付工(枠内吹付)　　SS000271

施 工 単 価 表

単第0 -0005　表

厚3cm　　[規]500m2以上1,000m2未満　　1　　m2　　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
法面工　機械播種施工による植生工 植生基材吹付工　厚３ｃｍ	1.000	㎡			TS270
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　厚3cm D=1　-			B=2　[規]500m2以上1,000m2未満 E=2　枠内吹付の場合		

水切モルタル　　VN001

施 工 単 価 表

単第0 -0006　表

10　　m　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
吹付枠工（加算額） 　水切モルタル・コンクリート	0.54	m3			TS967
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施 工 単 価 表

目地板　　SPK25040118　　単第0 -0007　表

1工事当り使用量30m2未満　　瀝青繊維質目地板t=10mm　　1　m2　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　64.40%　材料構成比：　35.60%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	47.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.60%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1　1工事当り使用量30m2未満			B=1　瀝青繊維質目地板t=10mm		

水切モルタル　　VN002

施 工 単 価 表

単第0 -0008　表

10　　m　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
吹付枠工（加算額） 　水切モルタル・コンクリート	0.72	m3			TS967
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

植生基材吹付工　　SS000271

施工単価表

単第0 -0009　表

厚3cm　　[規]500m2以上1,000m2未満　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
法面工　機械播種施工による植生工 植生基材吹付工　厚３ｃｍ	1.000	㎡			TS270
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　厚3cm D=1　-			B=2　[規]500m2以上1,000m2未満 E=1　-		

施 工 単 価 表

鉄筋挿入工　　SS000259　　単第0 -0010　表

現場条件II　　[規]200m以上　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件２	3.600	m			TSD00011
異形棒鋼ロックボルト D19,SD345(めっき付き)	4.000	m			T230E003
角座金 150×150×9mm,φ45(めっき付き)	1.000	枚			T230E009
ネジ付き球面ワッシャー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	1.000	個			T230E011
スペーサー D19用,D22用,D25用(電気めっき)	2.000	個			T230E013
ナット D19用(めっき付き)	1.000	個			T230E015
頭部キャップ 防錆材含む	1.000	個			T230E021
グラウト注入材	0.017	m3			SSL00259　単第0-0011　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　現場条件II D=4　鋼材の長さ(m) F=3.6　削孔長(m/本)			B=1　異形棒鋼ロックボルト_D19,SD345 E=65　削孔径(mm) G=1　角座金(めっき付)		
I=1　ワッシャー(めっき付) M=1　ナット(めっき付) Q=3　材料別途			K=1　スペーサー(めっき付) O=1　頭部キャップ(防錆材含む) S=1　-		

施 工 単 価 表

鉄筋挿入工　　SS000259　　単第0 -0010 表

現場条件II　　[規]200m以上　　1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
V=1 標準(0.4) Y=1 -			X=1 [規]200m以上		

グラウト注入材　　SSL00259

施 工 単 価 表

単第0 -0011　表

1　　m3　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
セメント 普通　２５ｋｇ袋入	1,230.000	kg			TTPCD0094
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　　-					

削孔機械の上下移動　　SS000261

施 工 単 価 表

単第0 -0012　表

1　回　当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 削孔機械の上下移動	1.000	回			TSD00015
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			

仮設足場の設置・撤去　　SS000263

施 工 単 価 表

単第0 -0013　表

1　　空m3　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 　仮設足場の設置・撤去	1.000	空ｍ３			TSD00017
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			

鋼管杭工(No.1・2・3・4・5)　VK001

施 工 単 価 表

単第0 -0014　表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭材料 No.1・2・3・4・5	1	本			VZ001　単第0-0015　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0016　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ001　　単第0 -0015　表

No.1・2・3・4・5　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.893	t			FZK007
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.893	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.893	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.893	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.893	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0016　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.760	人			RTPC00009 1.76*1 69
特殊作業員	3.520	人			RTPC00001 1.76*2 69
普通作業員	3.520	人			RTPC00002 1.76*2 69
モルタル(1:3) 注入材	1.037	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	1.760	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

A=2	モルタル杭（鋼管）	C=318.5	鋼管外径（mm）
D=2	鋼管板厚16～20mm	E=7.5	レキ質土・軟岩1の掘削長（m）
F=0	砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）	G=0	岩塊・玉石の掘削長（m）
H=0	軟岩2の掘削長（m）	I=0	硬岩の掘削長（m）
J=0	溶接回数（回/本）なし=0	K=2	補助ラフテレーンクレーンなし
L=1	【F】鋼管・H形鋼等(本)	M=1101	【F】モルタル(m3)

掘削長=杭長=材料長　7.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 7.50（m／本）　設計杭径　318mm　削孔径　400mm

削孔日数　T1 = 7.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.13（日／本）

準備建込等,充填日数　T2 = 0.63（日／本）

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0016　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
溶接日数　T3　=0.12*0 = 0.00 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.13+0.63+(0.00*1.60) = 1.7600 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*7.500*(1+0.1) = 1.036724700(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*7.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/7.500 = 45 (%)					

施 工 単 価 表

機-25_大口径ボーリングマシン運転　S9000059　単第0 -0017　表

大口径 19kW級　1　日　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
ボーリングマシン 大口径 19kW級	1.34	供用日			M1407
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　大口径 19kW級			B=1.34　機械損料数量(供用日/日)		

鋼管杭工(No.6)　　VK002

施 工 単 価 表

単第0 -0018　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.6	1	本			VZ002　単第0-0019　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0020　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ002

施 工 単 価 表

単第0 -0019　表

No.6　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK008
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.952	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.952	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0020　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.830	人			RTPC00009 1.83*1 69
特殊作業員	3.660	人			RTPC00001 1.83*2 69
普通作業員	3.660	人			RTPC00002 1.83*2 69
モルタル(1:3) 注入材	1.106	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	1.830	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2 モルタル杭（鋼管）			C=318.5 鋼管外径（mm）		
D=2 鋼管板厚16～20mm			E=8 レキ質土・軟岩1の掘削長（m）		
F=0 砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			G=0 岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0 軟岩2の掘削長（m）			I=0 硬岩の掘削長（m）		
J=0 溶接回数（回/本）なし=0			K=2 補助ラフテレーンクレーンなし		
L=1 【F】鋼管・H形鋼等(本)			M=1101 【F】モルタル(m3)		
掘削長=杭長=材料長　8.00+0.00+0.00+0.00+0.00 = 8.00（m／本）　設計杭径　318mm　削孔径　400mm 削孔日数　T1 = 8.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.20（日／本） 準備建込等,充填日数　T2 = 0.63（日／本）					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0020　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
溶接日数　T3　=0.12*0 = 0.00 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.20+0.63+(0.00*1.60) = 1.8300 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*8.000*(1+0.1) = 1.105839680(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*8.000+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/8.000 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.7)　　VK003

施 工 単 価 表

単第0 -0021　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.7	1	本			VZ003　単第0-0022　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0023　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ003

施 工 単 価 表

単第0 -0022　表

No.7　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	1.012	t			FZK009
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	1.012	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	1.012	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	1.012	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	1.012	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0023　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.910	人			RTPC00009 1.91*1 69
特殊作業員	3.820	人			RTPC00001 1.91*2 69
普通作業員	3.820	人			RTPC00002 1.91*2 69
モルタル(1:3) 注入材	1.175	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	1.910	日			S9000059　単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　モルタル杭（鋼管） D=2　鋼管板厚16～20mm F=0　砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			C=318.5　鋼管外径（mm） E=8.5　レキ質土・軟岩1の掘削長（m） G=0　岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0　軟岩2の掘削長（m） J=0　溶接回数（回/本）なし=0 L=1　【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0　硬岩の掘削長（m） K=2　補助ラフテレーンクレーンなし M=1101　【F】モルタル(m3)		
掘削長=杭長=材料長　8.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 8.50（m／本）　設計杭径　318mm　削孔径　400mm 削孔日数　T1 = 8.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.28（日／本） 準備建込等,充填日数　T2 = 0.63（日／本）					

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0023　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
溶接日数　T3　=0.12*0 = 0.00 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.28+0.63+(0.00*1.60) = 1.9100 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*8.500*(1+0.1) = 1.174954660(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*8.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/8.500 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.8・22)　VK004

施工単価表

単第0 -0024 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭材料 No.8・22	1	本			VZ004 単第0-0025 表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027 単第0-0026 表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ004　　単第0 -0025　表

No.8・22　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.714	t			FZK005
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.714	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.714	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.714	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.714	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.357	t			FZK001
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.357	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.359	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ004

施 工 単 価 表

単第0 -0025　表

No.8・22　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.357	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.361	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.361	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0026　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	2.172	人			RTPC00009 2.172*1 69
特殊作業員	4.344	人			RTPC00001 2.172*2 69
普通作業員	4.344	人			RTPC00002 2.172*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.244	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	1.980	日			S9000059　単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

A=2	モルタル杭（鋼管）	C=318.5	鋼管外径（mm）
D=2	鋼管板厚16～20mm	E=9	レキ質土・軟岩1の掘削長（m）
F=0	砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）	G=0	岩塊・玉石の掘削長（m）
H=0	軟岩2の掘削長（m）	I=0	硬岩の掘削長（m）
J=1	溶接回数（回/本）なし=0	K=2	補助ラフテレーンクレーンなし
L=1	【F】鋼管・H形鋼等(本)	M=1101	【F】モルタル(m3)

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0026　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5㎜　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
掘削長=杭長=材料長　9.00+0.00+0.00+0.00+0.00 = 9.00 (m／本)　設計杭径　318㎜　削孔径　400㎜ 削孔日数　T1 = 9.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.35 (日／本) 準備建込等,充填日数　T2 = 0.63 (日／本)					
溶接日数　T3　=0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.35+0.63+(0.12*1.60) = 2.1720 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*9.000*(1+0.1) = 1.244069640(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*9.000+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/9.000 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.9)　　VK005

施 工 単 価 表

単第0 -0027　表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭材料 No.9	1	本			VZ005　単第0-0028　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0029　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ005

施 工 単 価 表

単第0 -0028　表

No.9　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.357	t			FZK001
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.357	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.359	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ005

施 工 単 価 表

単第0 -0028　表

No.9　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.357	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.361	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.361	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0029　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	2.562	人			RTPC00009 2.562*1 69
特殊作業員	5.124	人			RTPC00001 2.562*2 69
普通作業員	5.124	人			RTPC00002 2.562*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.313	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	2.370	日			S9000059　単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

A=2	モルタル杭（鋼管）	C=318.5	鋼管外径（mm）
D=2	鋼管板厚16～20mm	E=9.5	レキ質土・軟岩1の掘削長（m）
F=0	砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）	G=0	岩塊・玉石の掘削長（m）
H=0	軟岩2の掘削長（m）	I=0	硬岩の掘削長（m）
J=1	溶接回数（回/本）なし=0	K=2	補助ラフテレーンクレーンなし
L=1	【F】鋼管・H形鋼等(本)	M=1101	【F】モルタル(m3)

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0029 表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5㎜　1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削長=杭長=材料長 9.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 9.50 (m／本)　設計杭径 318㎜　削孔径 400㎜ 削孔日数 T1 = 9.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.43 (日／本) 準備建込等,充填日数 T2 = 0.94 (日／本)					
溶接日数 T3 =0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.60 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 1.43+0.94+(0.12*1.60) = 2.5620 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量 Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*9.500*(1+0.1) = 1.313184620(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率 P = (20*0.000+45*9.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/9.500 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.10)　　VK006

施 工 単 価 表

単第0 -0030　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.10	1	本			VZ006　単第0-0031　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0032　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　VZ006

施 工 単 価 表

単第0 -0031　表

No.10　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.476	t			FZK002
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.476	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.478	t			FZK202

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ006　　単第0 -0031　表

No.10　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.476	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.480	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.480	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0032　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	2.712	人			RTPC00009 2.712*1 69
特殊作業員	5.424	人			RTPC00001 2.712*2 69
普通作業員	5.424	人			RTPC00002 2.712*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.451	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	2.520	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

A=2	モルタル杭（鋼管）		C=318.5	鋼管外径（mm）	
D=2	鋼管板厚16～20mm		E=10.5	レキ質土・軟岩1の掘削長（m）	
F=0	砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）		G=0	岩塊・玉石の掘削長（m）	
H=0	軟岩2の掘削長（m）		I=0	硬岩の掘削長（m）	
J=1	溶接回数（回/本）なし=0		K=2	補助ラフテレーンクレーンなし	
L=1	【F】鋼管・H形鋼等(本)		M=1101	【F】モルタル(m3)	

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0032　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
掘削長=杭長=材料長　10.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 10.50 (m／本)　設計杭径　318mm　削孔径　400mm 削孔日数　T1 = 10.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.58 (日／本) 準備建込等,充填日数　T2 = 0.94 (日／本)					
溶接日数　T3　=0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.58+0.94+(0.12*1.60) = 2.7120 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*10.500*(1+0.1) = 1.451414580(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*10.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/10.500 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.11)　　VK007

施 工 単 価 表

単第0 -0033　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.11	1	本			VZ007　単第0-0034　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0035　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ007

施 工 単 価 表

単第0 -0034　表

No.11　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK008
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.952	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.952	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.476	t			FZK002
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.476	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.478	t			FZK202

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ007　　単第0 -0034　表

No.11　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.476	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.480	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.480	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0035　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	2.932	人			RTPC00009 2.932*1 69
特殊作業員	5.864	人			RTPC00001 2.932*2 69
普通作業員	5.864	人			RTPC00002 2.932*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.659	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	2.740	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2 モルタル杭（鋼管） D=2 鋼管板厚16～20mm F=0 砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			C=318.5 鋼管外径（mm） E=12 レキ質土・軟岩1の掘削長（m） G=0 岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0 軟岩2の掘削長（m） J=1 溶接回数（回/本）なし=0 L=1 【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0 硬岩の掘削長（m） K=2 補助ラフテレーンクレーンなし M=1101 【F】モルタル(m3)		

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0035　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5㎜　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
掘削長=杭長=材料長　12.00+0.00+0.00+0.00+0.00 = 12.00 (m／本)　設計杭径　318㎜　削孔径　400㎜ 削孔日数　T1 = 12.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.80 (日／本) 準備建込等,充填日数　T2 = 0.94 (日／本)					
溶接日数　T3　=0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.80+0.94+(0.12*1.60) = 2.9320 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*12.000*(1+0.1) = 1.658759520(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*12.000+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/12.000 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.12)　　VK008

施 工 単 価 表

単第0 -0036　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.12	1	本			VZ008　単第0-0037　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0038　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ008

施 工 単 価 表

単第0 -0037　表

No.12　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	1.012	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	1.012	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	1.012	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	1.012	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	1.012	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.536	t			FZK006
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.536	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.538	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ008

施 工 単 価 表

単第0 -0037　表

No.12　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.536	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.540	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0038　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	3.082	人			RTPC00009 3.082*1 69
特殊作業員	6.164	人			RTPC00001 3.082*2 69
普通作業員	6.164	人			RTPC00002 3.082*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.797	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	2.890	日			S9000059　単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　モルタル杭（鋼管） D=2　鋼管板厚16～20mm F=0　砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			C=318.5　鋼管外径（mm） E=13　レキ質土・軟岩1の掘削長（m） G=0　岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0　軟岩2の掘削長（m） J=1　溶接回数（回/本）なし=0 L=1　【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0　硬岩の掘削長（m） K=2　補助ラフテレーンクレーンなし M=1101　【F】モルタル(m3)		

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0038　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5㎜　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
掘削長=杭長=材料長　13.00+0.00+0.00+0.00+0.00 = 13.00 (m／本)　設計杭径　318㎜　削孔径　400㎜ 削孔日数　T1 = 13.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 1.95 (日／本) 準備建込等,充填日数　T2 = 0.94 (日／本)					
溶接日数　T3　=0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数　α = 1.60 施工日数　TC = T1+T2+(T3*α) = 1.95+0.94+(0.12*1.60) = 3.0820 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量　Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*13.000*(1+0.1) = 1.796989480(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率　P = (20*0.000+45*13.000+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/13.000 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.13)　　VK009

施 工 単 価 表

単第0 -0039　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.13	1	本			VZ009　単第0-0040　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0041　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ009　　単第0 -0040　表

No.13　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK008
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.892	t			FZK005
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.892	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.894	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ009

施 工 単 価 表

単第0 -0040　表

No.13　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.892	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.896	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0041　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	3.232	人			RTPC00009 3.232*1 69
特殊作業員	6.464	人			RTPC00001 3.232*2 69
普通作業員	6.464	人			RTPC00002 3.232*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	1.935	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	3.040	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2 モルタル杭（鋼管） D=2 鋼管板厚16～20mm F=0 砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			C=318.5 鋼管外径（mm） E=14 レキ質土・軟岩1の掘削長（m） G=0 岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0 軟岩2の掘削長（m） J=1 溶接回数（回/本）なし=0 L=1 【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0 硬岩の掘削長（m） K=2 補助ラフテレーンクレーンなし M=1101 【F】モルタル(m3)		

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0041 表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5㎜　1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削長=杭長=材料長 14.00+0.00+0.00+0.00+0.00 = 14.00 (m／本) 削孔日数 T1 = 14.000*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 2.10 (日／本) 準備建込等,充填日数 T2 = 0.94 (日／本)			設計杭径 318㎜	削孔径 400㎜	
溶接日数 T3 =0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.60 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.10+0.94+(0.12*1.60) = 3.2320 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量 Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*14.000*(1+0.1) = 1.935219440(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率 P = (20*0.000+45*14.000+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/14.000 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.14)　　VK010

施 工 単 価 表

単第0 -0042　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.14	1	本			VZ010　単第0-0043　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0041　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　VZ010

施 工 単 価 表

単第0 -0043　表

No.14　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.892	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.892	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.892	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.892	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.892	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK008
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.776	t			FZK202

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ010　　単第0 -0043　表

No.14　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.778	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.15・17)　VK011

施 工 単 価 表

単第0 -0044　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.15・17	1	本			VZ011　単第0-0045　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0046　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ011

施 工 単 価 表

単第0 -0045　表

No.15・17　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK008
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK006
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.954	t			FZK202

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ011　　単第0 -0045　表

No.15・17　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.956	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0046　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	3.312	人			RTPC00009 3.312*1 69
特殊作業員	6.624	人			RTPC00001 3.312*2 69
普通作業員	6.624	人			RTPC00002 3.312*2 69
溶接工	0.144	人			RTPC00019 0.192*0.75 69
モルタル(1:3) 注入材	2.004	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	3.120	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2 モルタル杭（鋼管） D=2 鋼管板厚16～20mm F=0 砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）			C=318.5 鋼管外径（mm） E=14.5 レキ質土・軟岩1の掘削長（m） G=0 岩塊・玉石の掘削長（m）		
H=0 軟岩2の掘削長（m） J=1 溶接回数（回/本）なし=0 L=1 【F】鋼管・H形鋼等(本)			I=0 硬岩の掘削長（m） K=2 補助ラフテレーンクレーンなし M=1101 【F】モルタル(m3)		

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0046 表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削長=杭長=材料長 14.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 14.50 (m／本) 削孔日数 T1 = 14.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 2.18 (日／本) 準備建込等,充填日数 T2 = 0.94 (日／本)			設計杭径 318mm	削孔径 400mm	
溶接日数 T3 =0.12*1 = 0.12 (日／本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.60 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 2.18+0.94+(0.12*1.60) = 3.3120 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量 Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*14.500*(1+0.1) = 2.00433442(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率 P = (20*0.000+45*14.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/14.500 = 45 (%)					

鋼管杭工(No.16)　　VK017

施 工 単 価 表

単第0 -0047　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.16	1	本			VZ017　単第0-0048　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0046　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ017

施 工 単 価 表

単第0 -0048　表

No.16　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.952	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.952	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK008
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.776	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ017

施 工 単 価 表

単第0 -0048　表

No.16　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.778	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.18)　　VK012

施 工 単 価 表

単第0 -0049　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.18	1	本			VZ012　単第0-0050　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0041　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ012

施 工 単 価 表

単第0 -0050　表

No.18　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.952	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.952	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.714	t			FZK007
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.714	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.716	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ012

施 工 単 価 表

単第0 -0050　表

No.18　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.714	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.718	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.19)　　VK013

施 工 単 価 表

単第0 -0051　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.19	1	本			VZ013　単第0-0052　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0038　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ013

施 工 単 価 表

単第0 -0052　表

No.19　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.952	t			FZK008
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.952	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.952	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.952	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.952	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.595	t			FZK003
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.595	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.597	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ013

施 工 単 価 表

単第0 -0052　表

No.19　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.595	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.599	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.599	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.20)　VK014

施工単価表

単第0 -0053　表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭材料 No.20	1	本			VZ014　単第0-0054　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0035　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ014　　単第0 -0054　表

No.20　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.655	t			FZK004
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.655	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.657	t			FZK202

鋼管杭材料　　VZ014

施 工 単 価 表

単第0 -0054　表

No.20　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.655	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.659	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.659	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.21)　VK015

施工単価表

単第0 -0055　表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭材料 No.21	1	本			VZ015　単第0-0056　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0032　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ015

施 工 単 価 表

単第0 -0056　表

No.21　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.893	t			FZK007
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
規格エキストラ SKK490	0.893	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.893	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.893	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.893	t			FZK204
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.357	t			FZK001
JASPPジョイント 50×4.5	1.7	kg			FZK301
吊金具 3t未満,2個	2	kg			FZK311
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.357	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.359	t			FZK202

施 工 単 価 表

鋼管杭材料　　VZ015　　単第0 -0056　表

No.21　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.357	t			FZK203
長尺エキストラ 3m以上6m未満	0.361	t			FZK205
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.361	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭工(No.23)　　VK016

施 工 単 価 表

単第0 -0057　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管杭材料 No.23	1	本			VZ016　単第0-0058　表
場所打杭工(大口径ボーリングマシン工) モルタル杭（鋼管） 鋼管外径318.5mm	1	本			S1030027　単第0-0059　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

鋼管杭材料　　VZ016

施 工 単 価 表

単第0 -0058　表

No.23　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鋼管ぐい SKK400 JIS標準寸法　JIS A 5525	0.774	t			FZK006
穴あけ加工 直径φ50㎜	2	ヶ所			FZK101
穴あけ加工 注入孔 φ50㎜	2	個			FZK102
規格エキストラ SKK490	0.774	t			FZK201
外径エキストラ 600㎜未満	0.774	t			FZK202
肉厚エキストラ φ318.5㎜×16㎜	0.774	t			FZK203
地域エキストラ 鳥取　陸上　１２m以下	0.774	t			FZK204
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0059　表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.610	人			RTPC00009 1.61*1 69
特殊作業員	3.220	人			RTPC00001 1.61*2 69
普通作業員	3.220	人			RTPC00002 1.61*2 69
モルタル(1:3) 注入材	0.898	m3			F0000001101
栗石	1.000	m3			F0000000001
機-25_大口径ボーリングマシン運転 大口径 19kW級	1.610	日			S9000059 単第0-0017　表 69
ビット等損耗費率	45	%			#06
諸雑費	28	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

A=2	モルタル杭（鋼管）	C=318.5	鋼管外径（mm）
D=2	鋼管板厚16～20mm	E=6.5	レキ質土・軟岩1の掘削長（m）
F=0	砂・砂質土・粘性土の掘削長（m）	G=0	岩塊・玉石の掘削長（m）
H=0	軟岩2の掘削長（m）	I=0	硬岩の掘削長（m）
J=0	溶接回数（回/本）なし=0	K=2	補助ラフテレーンクレーンなし
L=1	【F】鋼管・H形鋼等(本)	M=1101	【F】モルタル(m3)

掘削長=杭長=材料長　6.50+0.00+0.00+0.00+0.00 = 6.50（m／本）　設計杭径　318mm　削孔径　400mm

削孔日数　T1 = 6.500*0.15+0.000*0.07+0.000*0.24+0.000*0.34+0.000*0.44 = 0.98（日／本）

準備建込等,充填日数　T2 = 0.63（日／本）

施 工 単 価 表

場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)　S1030027　単第0 -0059 表

モルタル杭（鋼管）　鋼管外径318.5mm　1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶接日数 T3 =0.12*0 = 0.00 (日／本) 鋼管板厚補正係数 α = 1.60 施工日数 TC = T1+T2+(T3*α) = 0.98+0.63+(0.00*1.60) = 1.6100 (日／本)					
ﾓﾙﾀﾙ使用量 Q = π/4*D*D*L*(1+K1) = 3.14159/4*0.400*0.400*6.500*(1+0.1) = 0.898494740(m3/本) ﾋﾞｯﾄ等損耗費率 P = (20*0.000+45*6.500+45*0.000+45*0.000+90*0.000)/6.500 = 45 (%)					

鋼管杭工天端処理　　VK101

施 工 単 価 表

単第0 -0060　表

1　箇所　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
型枠 一般型枠 小型構造物	0.4	m2			SPK25040159　単第0-0061　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.1	m3			SPK25040157　単第0-0062　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

型枠　　SPK25040159

施 工 単 価 表

単第0 -0061　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比：　0.00%　　労務構成比：　100.00%　　材料構成比：　0.00%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施 工 単 価 表

コンクリート　　SPK25040157　　単第0 -0062　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　　m3　　当り

機械構成比：　0.00%　　労務構成比：　46.18%　　材料構成比：　53.82%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	28.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	53.82%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2　小型構造物 C=3　18-8-25(20)BB H=1　現場内小運搬有り K=1　-(全ての費用)			B=3　人力打設 F=2　一般養生 J=1　-		

ミニクローラクレーン運転　VK102

施工単価表

単第0 -0063　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.5	人			RTPC00006
ミニクローラクレーン（賃料） 2.93t吊り　乗車型	1.5	日			FZK012
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	56.7	L			TTPC00013
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施 工 単 価 表

足場(地表)　　SPK25040233　　単第0 -0064　表

傾斜地　　1　　空m3　　当り

機械構成比：　2.85%　　労務構成比：　96.97%　　材料構成比：　0.18%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>クローラクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊	2.85%		クローラクレーン [油圧伸縮ジブ型]4.9t吊		KTPC00034 KTPT00034
普通作業員	35.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
とび工	21.56%		とび工		RTPC00004 RTPT00004
土木一般世話役	21.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	3.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	0.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　　傾斜地					

側溝清掃車運搬　　S1030031

施 工 単 価 表

単第0 -0065　表

運搬距離_7.0km超え14.0km以下　　100　m3　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
普通作業員	10.417	人			RTPC00002
機-19_側溝清掃車運転 ブロワ式 ホッパ容量9.0m3_風量40m3/min	10.417	日			S9000083　単第0-0066　表 100/9.6
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　運搬距離_7.0km超え14.0km以下					
D:日当り運搬量 = 9.6(m3/日) 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 9.6 = 10.417(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

機-19_側溝清掃車運転　　S9000083

施工単価表

単第0 -0066　表

ブロワ式　　ホッパ容量9.0m3_風量40m3/min　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
一般運転手	1.00	人			RTPC00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	84.00	L			TTPC00013
側溝清掃車 ブロワ式 ホッパ容量9.0m3風量40m3/min	1.00	供用日			M1110051
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　ホッパ容量9.0m3_風量40m3/min C=84　燃料消費量(L/日)			B=1　運転労務数量(人/日) D=1　機械損料数量(供用日/日)		

モノレール設置撤去工　　VV001

施 工 単 価 表

単第0 -0067　表

1　　式　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
モノレール架設・撤去 50m超100m以下	1	箇所			SSE027　単第0-0068　表
モノレール運搬 総運搬距離50m超100m以下	2	t			SSE023　単第0-0069　表
モノレール機械器具損料 設置距離　50m超 100m以下	1	箇所			SSE024　単第0-0070　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

モノレール架設・撤去　　SSE027

施 工 単 価 表

単第0 -0068　表

50m超100m以下　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モノレール架設・撤去 設置距離５０m超～１００m以下	1.00	箇所			TSE00024
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　　50m超100m以下					

施 工 単 価 表

モノレール運搬　　SSE023　　単第0 -0069 表

総運搬距離50m超100m以下　　1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モノレール運搬 ５０m超～１００m以下　総運搬距離	1.00	t			TSE00031
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=2　　総運搬距離50m超100m以下					

施 工 単 価 表

モノレール機械器具損料　　SSE024　　単第0 -0070　表

設置距離　50m超 100m以下　　1　箇所　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
モノレール機械器具損料 ５０m超～１００m以下	384	日			KE000013 1*384
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　設置距離　50m超 100m以下			B=384　供用日数		

施 工 単 価 表

立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込　　VV231　　単第0 -0071　表

傾斜角度15°以上　　1　式　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
立木切倒し・枝払い切揃え、集積 傾斜15°以上 植生疎密度　中	10	本			VV2301　単第0-0072　表
立木積込	10	t			VV2311　単第0-0074　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施 工 単 価 表

立木切倒し・枝払い切揃え、集積　　VV2301　　単第0 -0072　表

傾斜15°以上　　植生疎密度　中　　100　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.21	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.53	人			RTPC00001 9
普通作業員	4.07	人			RTPC00002 9
機-3_バックホウ運転 クローラ[標]山0.45m3(平0.35m3) 排出ガス対策型1次基準	6.16	時間			S9000013　単第0-0073　表
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

機-3_バックホウ運転　　S9000013　　単第0 -0073　表

クローラ[標]山0.45m3(平0.35m3)　　排出ガス対策型1次基準　　1　時間　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
特殊運転手	0.17	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	8.60	L			TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	1	時間			MTPC00010
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(巨石採取工用) 開口幅2100～2500mm爪幅450～1000mm	1	時間			MTPC00078
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=2　クローラ[標]山0.45m3(平0.35m3) C=1　開口幅2100～2500mm爪幅450～1000mm E=0　労務単価の夜間等割増率 G=0　燃料消費量（L/日）　標準=省略			B=2　排出ガス対策型1次基準 D=1　岩石工損料割増　無し F=0　運転労務数量（人/日）　標準=省略		
運転日当運転時間 T = 700 (③欄) / 120 (④欄) = 5.8 運転労務歩掛 1／T = 1 / 5.8 = 0.17 燃料消費量（時間当り）= 60.000 (kW) × 0.144 (燃料消費率) = 8.600 (L／時間)					
掴み装置　損料表⑬欄 = 770					

立木積込　　VV2311

施 工 単 価 表

単第0 -0074　表

10　　t　　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
土木一般世話役	0.17	人			RTPC00009
普通作業員	0.31	人			RTPC00002
機-3_バックホウ運転 クローラ[標]山0.45m3(平0.35m3) 排出ガス対策型1次基準	2.24	時間			S9000013　　単第0-0073　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			

施 工 単 価 表

立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込　　VV232　　単第0 -0075　表

傾斜角度30°以上　　1　式　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
立木切倒し・枝払い切揃え、集積 傾斜30°以上 植生疎密度　中	10	本			VV2302　単第0-0076　表
立木積込	10	t			VV2311　単第0-0074　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	一式			

施 工 単 価 表

立木切倒し・枝払い切揃え、集積　VV2302　単第0 -0076　表
傾斜30°以上　植生疎密度　中　100　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.32	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.76	人			RTPC00001 9
普通作業員	4.44	人			RTPC00002 9
機-3_バックホウ運転 クローラ[標]山0.45m3(平0.35m3) 排出ガス対策型1次基準	6.72	時間			S9000013　単第0-0073　表
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

現場発生品及び支給品運搬　　SPK25040411　　単第0 -0077　表

クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊　　片道運搬距離2.0km以下　　1　　t　　当り

機械構成比：　17.30%　　労務構成比：　78.90%　　材料構成比：　3.80%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.30%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
特殊運転手	39.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 C=2　片道運搬距離2.0km以下			B=1　DID区間無し		

施 工 単 価 表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し　　SPK25040412　　単第0 -0078　表

クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊　　1　　t　　当り

機械構成比：　17.23%　　労務構成比：　78.98%　　材料構成比：　3.79%　　市場単価構成比：　0.00%　　標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	17.23%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
特殊運転手	39.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	38.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　　クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊					

施 工 単 価 表

運搬工（幹）　V0021　単第0 -0079　表

ダンプトラック運搬（１０ｔ）　吾妻商事（L=26.9km）　100　空m3　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般運転手	4.1	人			RTPC00007
軽油 　小型ローリー（パトロール給油）	246	L			TTPC00013
ダンプトラック（１０ｔ積級）損料	5.3	供用日			F0000000008
タイヤ損耗費 　ダンプトラック１０ｔ　良好	5.3	時間			K1013
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	空m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			

施工単価表

運搬工（枝葉）　V0022　単第0 -0080　表

ダンプトラック運搬（１０ｔ）　吾妻商事（L=26.9km）　100　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
一般運転手	4.1	人			RTPC00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	246	L			TTPC00013
ダンプトラック（１０ｔ積級）損料	5.3	供用日			F0000000008
タイヤ損耗費 ダンプトラック１０ｔ　良好	5.3	時間			K1013
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施 工 単 価 表

運搬工（根株）　V0023　単第0 -0081　表

ダンプトラック運搬（１０ｔ）　吾妻商事（L=26.9km）　100　m3　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般運転手	1.7	人			RTPC00007
軽油 　小型ローリー（パトロール給油）	102	L			TTPC00013
ダンプトラック（１０ｔ積級）損料	2.2	供用日			F0000000008
タイヤ損耗費 　ダンプトラック１０ｔ　良好	2.2	時間			K1013
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

基本試験(引抜試験)　　VN101

施 工 単 価 表

単第0 -0082　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄筋挿入工 現場条件II [規]200m以上	1	本			SS000259　単第0-0083　表
引抜試験	1	本			VN1011　単第0-0084　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施 工 単 価 表

鉄筋挿入工　　SS000259　　単第0 -0083　表

現場条件II　　[規]200m以上　　1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
鉄筋挿入工（ロックボルト工） 現場条件２	2.000	m			TSD00011
異形棒鋼ロックボルト D19,SD345(めっき付き)	2.500	m			T230E003
角座金 150×150×9mm,φ45(めっき付き)	1.000	枚			T230E009
ネジ付き球面ワッシャー D19用,D22用,D25用(めっき付き)	1.000	個			T230E011
スペーサー D19用,D22用,D25用(電気めっき)	2.000	個			T230E013
ナット D19用(めっき付き)	1.000	個			T230E015
頭部キャップ 防錆材含む	1.000	個			T230E021
グラウト注入材	0.009	m3			SSL00259　単第0-0011　表
諸雑費	1	一式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=2　現場条件II D=2.5　鋼材の長さ(m) F=2　削孔長(m/本)			B=1　異形棒鋼ロックボルト_D19,SD345 E=65　削孔径(mm) G=1　角座金(めっき付)		
I=1　ワッシャー(めっき付) M=1　ナット(めっき付) Q=3　材料別途			K=1　スペーサー(めっき付) O=1　頭部キャップ(防錆材含む) S=1　-		

施 工 単 価 表

鉄筋挿入工　　SS000259　　単第0 -0083　表

現場条件II　　[規]200m以上　　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
V=1　標準(0.4) Y=1　-			X=1　[規]200m以上		

引抜試験　　VN1011

施 工 単 価 表

単第0 -0084　表

1　本　当り

名　称　・　規　格　な　ど	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 9
法面工	2.0	人			RTPC00003 9
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001 9
技師（B）	1.0	人			R0000041 9
雑材料	15	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

単　　価　　一　　覧　　表

（工事名）令和6年災第2号市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その2）

名　　称	規　　格	単位	採用価格	備　考
モルタル	1:3	m3		建設物価　8 月 P. 105
異形棒鋼ロックボルト	D19,SD345(めっき付き)	m		県単価　8 月
角座金	150*150*9mm, φ45(めっき付き)	枚		建設物価　8 月 P. 72
ネジ付き球面ワッシャー	D19用,D22用,D25用(めっき付き)	個		県単価　8 月
スペーサー	D19用,D22用,D25用(電気めっき)	m		県単価　8 月
鋼管ぐい	SKK400 JIS標準寸法 JIS A 5525	t		建設物価　8 月 P. 5
規格エキストラ	SKK490	t		建設物価　8 月 P. 5
外径エキストラ	600mm未満	t	18,000	見積価格
肉厚エキストラ	16mm	t		建設物価　8 月 P. 5
地域エキストラ	鳥取 陸上 12m以下	t		建設物価　8 月 P. 6
長さエキストラ	3m以上6m未満	t		建設物価　8 月 P. 5
現場円周溶接用部材 JASPPジョイント	50*4.5	kg		建設物価　8 月 P. 6
吊金具	3t未満,2個	kg		建設物価　8 月 P. 6

単　　価　　一　　覧　　表

(工事名)令和6年災第2号市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事(その2)

名　　称	規　　格	単位	採用価格	備　考
吹付枠工	モルタル・コンクリート 梁断面　300×300	m		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 133
吹付枠工	ラス張工	m2		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 133
吹付枠工	(加算額)水切りモルタル・コンクリート	m3		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 133
鉄筋挿入工	現場条件Ⅱ	m		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 141
鉄筋挿入工	削孔機械の上下移動	回		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 141
鉄筋挿入工	仮設足場の設置・撤去	空m3		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 141
穴あけ加工	直径50㎜	ヶ所	2,500	見積価格
穴あけ加工	注入孔　φ50	個	2,500	見積価格
ナット	D19用(めっき付き)	個		建設物価　8 月 P. 72
頭部キャップ	防錆材含む	個		建設物価　8 月 P. 72
銅バンド	φ318.5mm	個		建設物価　8 月 P. 6
植生基材吹付工	厚3cm,500m2以上1000m2未満 枠内吹付	m2		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 119 採用価格×1.1×0.8
植生基材吹付工	厚3cm,500m2以上1000m2未満	m2		ｺｽﾄ情報　7 月 P. 119 採用価格×1.1
ミニクローラクレーン（賃料）	2.93t吊り　乗車型	日	64,666	見積価格

令和6年災
第2号
市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事
（その2）

本工事（法面）

数量計算書

数量総括表

種　別	細　別	規　格	単　位	数　量	摘　要
土工 斜面土工					
	掘削		m3	149	
	埋戻(流用土)		m3	149	
法面工 上段補強法面工					
	吹付枠工	300×300	m	601.1	
	ラス張工		m2	387	
	(枠内)植生基材吹付工	t=3cm	m2	137	
	水切モルタル	吹付モルタル	m	194.0	
	目地工		m2	1.8	
下段補強法面工					
	吹付枠工	300×300	m	602.8	
	ラス張工		m2	511	
	(枠内)植生基材吹付工	t=3cm	m2	226	
	水切モルタル	吹付モルタル	m	218.2	
	目地工		m2	1.8	
緑化法面工					
	ラス張工		m2	357	
	植生基材吹付	t=3cm	m2	357	
鉄筋挿入工					
	鉄筋挿入工		本	224	
	削孔機の上下移動		回	11	
	仮設足場の設置撤去		空m3	649	
鋼管杭工					
	No.1・2・3・4・5		本	5	
	No.6		本	1	
	No.7		本	1	

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要
	No.8・22		本	2	
	No.9		本	1	
鋼管杭工	No.10		本	1	
	No.11		本	1	
	No.12		本	1	
	No.13		本	1	
	No.14		本	1	
	No.15・17		本	2	
	No.16		本	1	
	No.18		本	1	
	No.19		本	1	
	No.20		本	1	
	No.21		本	1	
	No.23		本	1	
	鋼管杭天端処理		箇所	23	
	杭施工材	銅バンド	個	1	
	足場(地表)	作業ヤード,傾斜地	空m3	808	
	泥水運搬処理工		m3	1.0	No.1
	建設汚泥処分		m3	1.0	No.1

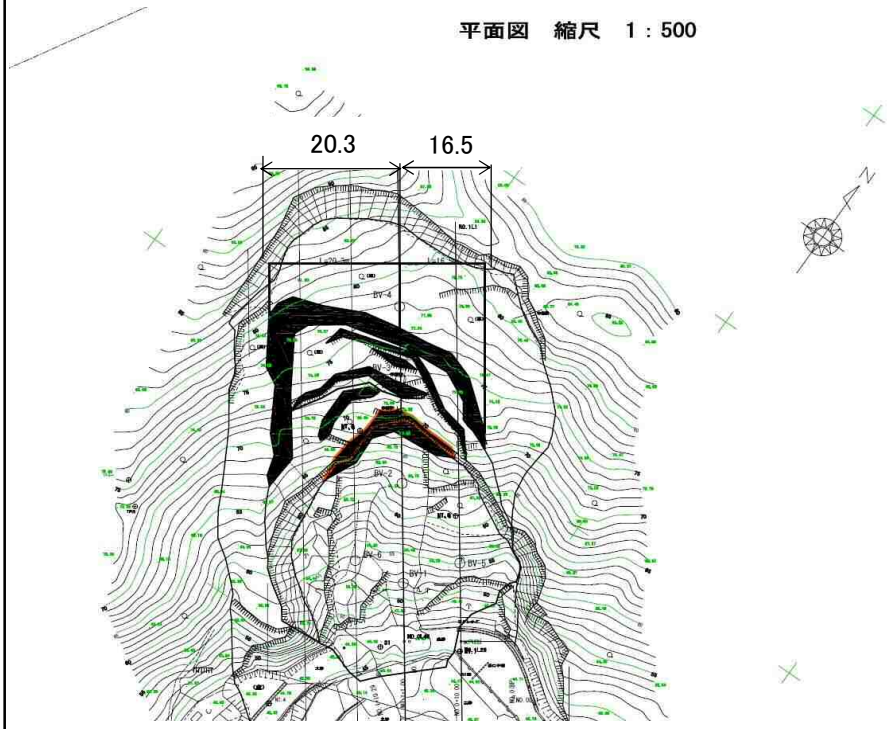
種　別	細　別	規　格	単　位	数　量	摘　要
仮設工					
	鋼管杭搬入用足場		空m3	562	
	モノレール設置・撤去工		式	1	
準備費	立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込		式	1	
	立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込		式	1	
	現場発生品及び支給品積込荷卸		t	24	12.0×2
	現場発生品支給品運搬		t	24	12.0×2
	運搬工(幹)		空m3	14	7.2×2
	運搬工(枝葉)		m3	1.5	0.75×2
	運搬工(根株)		m3	4.0	2×2
	立木売却費		t	17	8.7×2
準備費	枝葉売却費		t	1.8	0.9×2
	伐根材処分費		t	4.8	2.4×2
技術管理費	鉄筋挿入工引き抜き試験	2.5m タイプ	本	3	

土工総括表				
種　　別	細　　別	単位	数　量	摘　　要
土工				
斜面土工	法面工上部			
掘削	小規模,標準	m3	149.0	
埋戻(流用土)		m3	149.0	

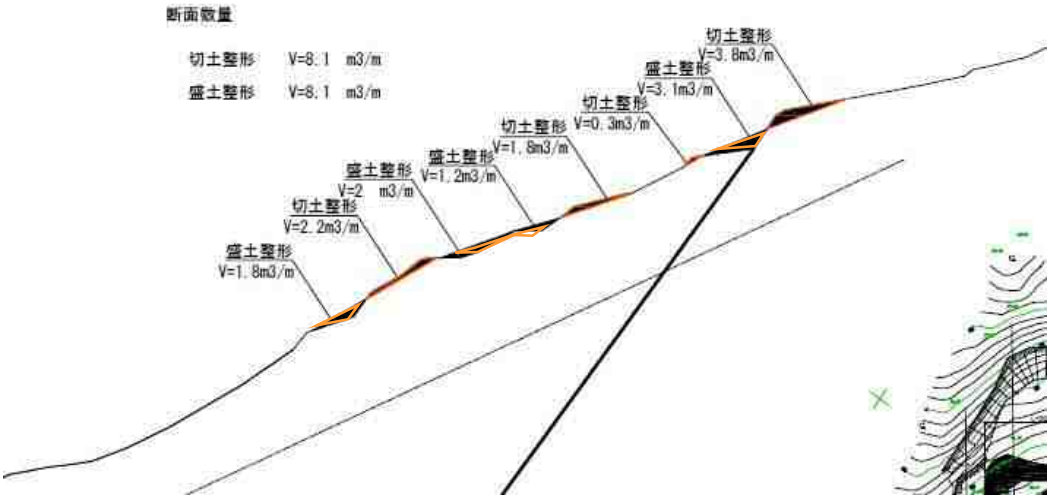
土工　斜面土工

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
切土整形	(3.8＋0.3＋1.8＋2.2)/2×(20.3+16.5)	m3	149.0	
盛土整形	(3.1＋1.2＋2.0＋1.8)/2×(20.3+16.5)	m3	149.0	

平面図　縮尺　1：500



断面図　縮尺　1：100



法面工 総括表				
種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
上段補強法面工				
吹付枠工	300×300	m	601.1	
ラス張工		m2	387.0	
(枠内)植生基材吹付工	t=3cm	m2	137.4	
水切モルタル	吹付モルタル	m	194.0	
目地工		m2	1.8	
下段補強法面工				
吹付枠工	300×300	m	602.8	
ラス張工		m2	511.6	
(枠内)植生基材吹付工	t=3cm	m2	226.0	
水切モルタル	吹付モルタル	m	218.2	
目地工		m2	1.8	
緑化法面工				
ラス張工		m2	357.2	
植生基材吹付	t=3cm	m2	357.2	
鉄筋挿入工				
鉄筋挿入工	φ65mm削孔、D19×4000	本	224.0	
削孔機の上下移動		回	11.0	10段+撤去
仮設足場の設置撤去		空m3	649.6	2.9空m3/本×224本

法面工集計表

種 別	細 別	単位	法面1	法面2	法面3
			上部補強法面	下部補強法面	緑化法面
吹付枠工	300×300	m	601.1	602.8	0.0
ラス張工		m2	387.0	511.6	357.2
水切モルタル	吹付モルタル	m	194.0	218.2	0.0
目地工		m2	1.8	1.8	0.0
鉄筋挿入工	φ65mm削孔、D19×4000	本	224.0	0.0	0.0
(枠内)植生基材吹付工	t=3cm	m2	137.4	226.0	0.0
植生基材吹付工	t=3cm	m2	0.0	0.0	357.2

鉄筋挿入工(本設仕様：異形棒鋼D19,L=4.0m)　数量算出表

名　　称	規格・形状	算　　式	単位	数　量
削孔	φ65 ,礫質土		m	3.6
鉄筋ネジ異形棒鋼	D19×4000		本	1
コマナット	D19用		ケ	1
ネジ付き球面ワッシャー	D19用,H=25, φ74.5		ケ	1
スペーサー	D19用		ケ	2
定着プレート	PL-150×150×9		枚	1
防錆キャップ	アルミ製H=150, φ100		ケ	1
グラウト材	σck＝21kN/cm3	V＝π×φ^2/4×(L-0.4)×(1＋K) 補正係数K=0.4	m3	0.017
防錆油	ベルコート同等品		kg	0.36
注入パイプ	φ21.5/φ16		m	4.0

断面図　S=1:10



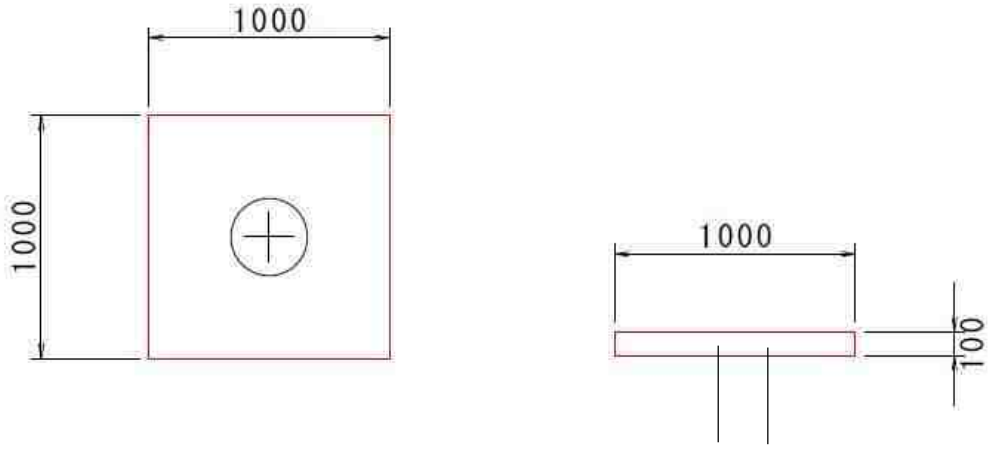
鋼管杭工 総括表				
種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
鋼管杭工	No.1・2・3・4・5	本	5.0	
鋼管杭工	No.6	本	1.0	
鋼管杭工	No.7	本	1.0	
鋼管杭工	No.8・22	本	2.0	
鋼管杭工	No.9	本	1.0	
鋼管杭工	No.10	本	1.0	
鋼管杭工	No.11	本	1.0	
鋼管杭工	No.12	本	1.0	
鋼管杭工	No.13	本	1.0	
鋼管杭工	No.14	本	1.0	
鋼管杭工	No.15・17	本	2.0	
鋼管杭工	No.16	本	1.0	
鋼管杭工	No.18	本	1.0	
鋼管杭工	No.19	本	1.0	
鋼管杭工	No.20	本	1.0	
鋼管杭工	No.21	本	1.0	
鋼管杭工	No.23	本	1.0	
鋼管杭天端処理		箇所	23.0	B1m×L1m×t0.1m
杭施工材	銅バンド	個	1.0	
足場(地表)	作業ヤード,傾斜地	空m3	808	鋼管杭工縦断図で算定
泥水運搬処理工		m3	1.0	No.1
建設汚泥処分		m3	1.0	No.1

鋼管杭天端処理　数量表

1.0基当たり

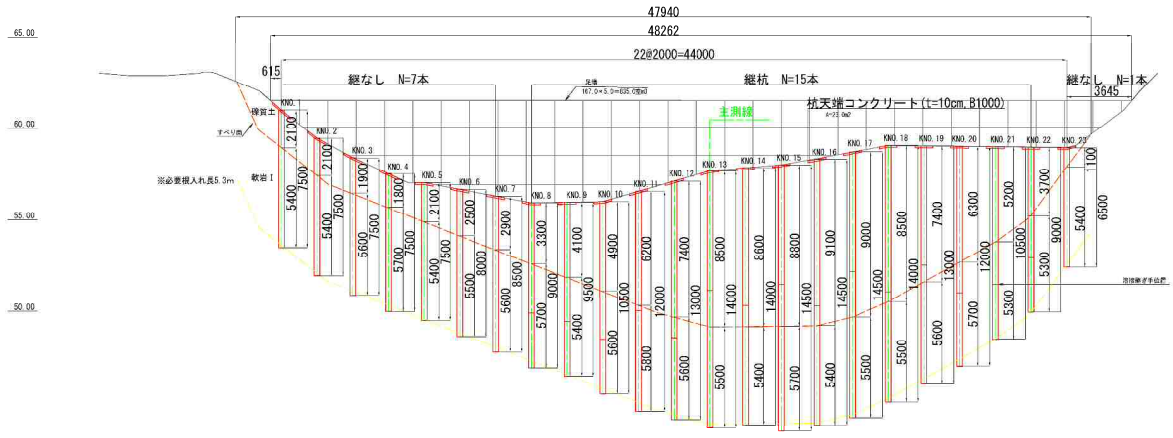
種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
天端処理				
型枠	(1.0＋1.0)×0.1×2	m2	0.4	
コンクリート	1.0×1.0×0.1	m3	0.1	

鋼管杭天端処理　S=1/20



足 場 工 計 算 書

測点	単距離 (m)	K:足場仮設 (単管足場) 幅(m)	高さ(m)	面積(m^2)	平均面積(m2)	空体積(m3)	備 考
起点	0.00	5.00	0.00	0.00			
					1.25	0.0	
KNo.1	0.62	5.00	0.50	2.50		0.8	
					6.38		
KNo.2	2.00	5.00	2.05	10.25		12.8	
					13.00		
KNo.3	2.00	5.00	3.15	15.75		26.0	
					17.88		
KNo.4	2.00	5.00	4.00	20.00		35.8	
					21.25		
KNo.5	2.00	5.00	4.50	22.50		42.5	
					23.38		
KNo.6	2.00	5.00	4.85	24.25		46.8	
					25.13		
KNo.7	2.00	5.00	5.20	26.00		50.3	
					27.00		
KNo.8	2.00	5.00	5.60	28.00		54.0	
					27.88		
KNo.9	2.00	5.00	5.55	27.75		55.8	
					27.63		
KNo.10	2.00	5.00	5.50	27.50		55.3	
					26.13		
KNo.11	2.00	5.00	4.95	24.75		52.3	
					23.38		
KNo.12	2.00	5.00	4.40	22.00		46.8	
					20.63		
KNo.13	2.00	5.00	3.85	19.25		41.3	
					18.88		
KNo.14	2.00	5.00	3.70	18.50		37.8	
					18.00		
KNo.15	2.00	5.00	3.50	17.50		36.0	
					16.75		
KNo.16	2.00	5.00	3.20	16.00		33.5	
					15.00		
KNo.17	2.00	5.00	2.80	14.00		30.0	
					13.13		
KNo.18	2.00	5.00	2.45	12.25		26.3	
					12.25		
KNo.19	2.00	5.00	2.45	12.25		24.5	
					12.38		
KNo.20	2.00	5.00	2.50	12.50		24.8	
					12.50		
KNo.21	2.00	5.00	2.50	12.50		25.0	
					12.50		
KNo.22	2.00	5.00	2.50	12.50		25.0	
					12.63		
KNo.23	2.00	5.00	2.55	12.75		25.3	
					6.38		
終点	3.65	5.00	0.00	0.00		0.0	
小計	48.27					808.7	

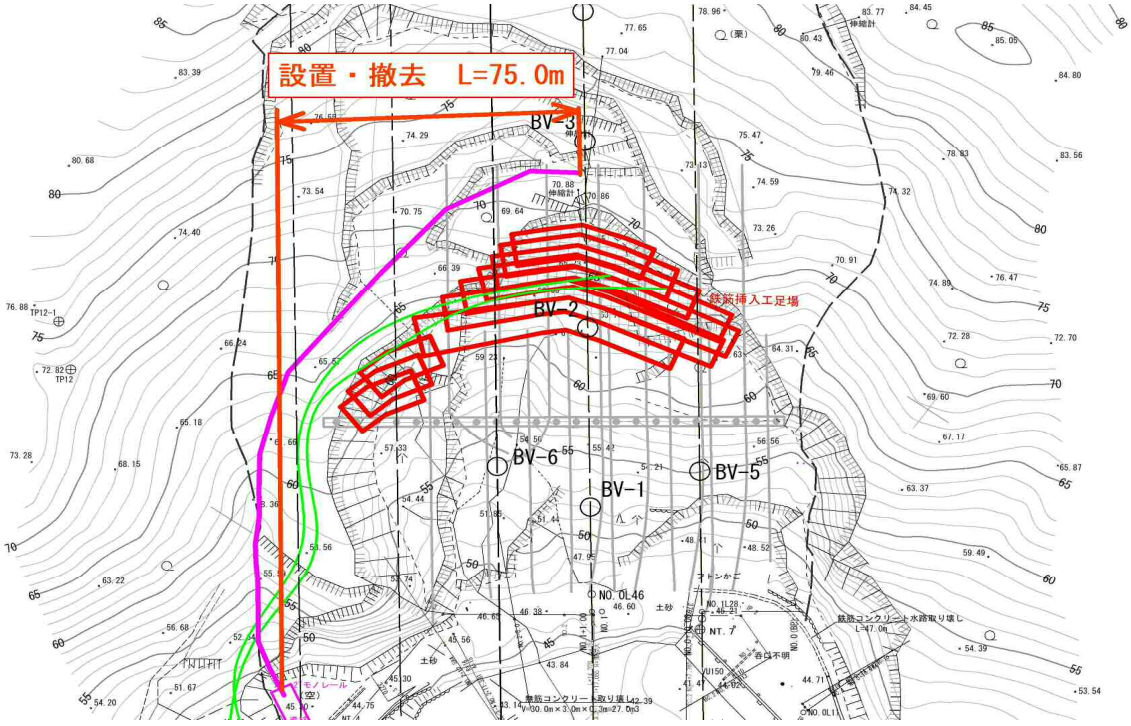


仮設工 総括表				
種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
仮設工				
鋼管杭搬入用足場	単管足場（L（17.5+20.0）m*B5.0m*H3.0m）	空m3	562.5	37.5×5.0×3.0
モノレール設置・撤去工		式	1	

モノレール設置・撤去工　数量表

1.0式当たり

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
モノレール設置・撤去		m	75.0	鉄筋挿入工仮設計画図にて計測
モノレール運転		日	384	



準備工 集計表

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
準備工				
立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込		式	1.0	
立木切倒し・枝払い切揃え、集積、立木積込		式	1.0	
現場発生品及び支給品積込荷卸		t	24.0	12.0×2
現場発生品支給品運搬		t	24.0	12.0×2
運搬工(幹)		空m3	14.4	7.2×2
運搬工(枝葉)		m3	1.5	0.75×2
運搬工(根株)		m3	4.0	2×2
立木売却費		t	17.4	8.7×2
枝葉売却費		t	1.8	0.9×2
伐根材処分費		t	4.8	2.4×2

鉄筋挿入工試験工 集計表				
種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
鉄筋挿入工引き抜き試験	2.5m タイプ	本	3.0	

鉄筋挿入工引き抜き試験（2.5m タイプ）計算書

（鉄筋挿入工1本当たり）

種 別	細 別	単 位	数 量	備 考
削孔	φ65 ,礫質土	m	2.0	ΣL=2..5m
鉄筋ネジ異形棒鋼	D19×2500	本	1.0	
コマナット	D19用	ケ	1.0	f=352.7kN
ネジ付き球面ワッシャー	D19用,H=25,φ74.5	ケ	1.0	
スペーサー	D19用	ケ	2.0	
定着プレート	PL-150×150×9	枚	1.0	
注入パイプ	φ21.5/φ16	m	2.5	
【反力体】				
H形鋼	H-250×250×9×14	m	30.2	2168ｋｇ
等辺山形鋼	L-75×75×9	m	6.4	64ｋｇ
補強板	PL-222×120.5×9	枚	4	7.6ｋｇ
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	M16×50	組	56	

V＝π×φ^2/4×ΣL×(1＋K)
補正係数K=0.4

現　場　説　明　書

令和8年7月10日以降適用（鳥取市）

仕様書

①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/294862.htm）によること。
②仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市建設工事低入札価格調査制度実施要領（令和3年3月31日制定）第4条」と読み替えるものとする。
③仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。

工程

~~①（他工事等との調整）~~

＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿と関連するので相互の連絡調整を密にすること。

~~②（部分完成、着工保留）~~

＿＿＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿（すること、しないこと）。

③（施工時間）

本工事の施工時間帯は、昼間施工(８：００～１７：００)を見込んでいる。
＿＿＿＿＿＿の施工時間は、＿＿＿～＿＿＿とする。

④（標準工期）

本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。

項　　目	適　　用
工期の設定方法	標準工期算定式~~・標準作業量による積み上げ日数~~
本工事に使用する雨休率	0.90　(R2 ～ R6　5年間平均値)
休日・悪天候以外の作業不能日	0日（令和　年　月　日～令和　年　月　日）
標準工期（全体工期）	301日（余裕期間含む~~・含まない~~）

~~⑤（余裕期間設定工事）~~

本工事は、鳥取市余裕期間設定工事に係る実施要領（平成29年10月24日付事務連絡都市企画課長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。
標準工期については、④のとおりとする。

⑥（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）

この工事の工期には、鋼材調達期間として、＿3　ヶ月＿を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

⑦（週休２日工事）

本工事は、鳥取市週休2日工事試行実施要領（令和8年5月1日付検査契約課長通知）の対象工事である。https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1684.htmlに掲載された最新の同要領の規定に従い週休2日工事に努めること。

用地関係

~~①（用地、物件等未処理）~~

本工事区間の＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿があるので､監督員と打合せのうえ施工を行うこと。
なお、＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿の予定である。

支障物件

①（埋設物等の事前調査）

工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査~~・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他＿＿＿＿）について調査済み~~〕である。
事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他＿＿＿＿）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。
その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。

~~②（支障物件）~~

＿＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿＿＿が支障となっているが、＿＿＿＿＿＿までに移設が完了する見込である。
予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。

~~③（立木の置き場所）~~

工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。

公害対策

~~①（低騒音型・低振動型建設機械）~~

本工事のうち施工箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
該当工種：＿＿＿＿＿＿＿＿、施工機械：＿＿＿＿＿＿＿＿

現　場　説　明　書

安全対策

~~①（交通安全施設等）~~

一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。

交通誘導員Ａ　　人　交替要員　　人　１日あたり合計　　人　配置日数　　日
工事全体合計　　人・日

交通誘導員Ｂ　　人　交替要員　　人　１日あたり合計　　人　配置日数　日
工事全体合計　　人・日

警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。

交通誘導員Aとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。

なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第１４条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置していることとみなす。

濁水処理

~~①（濁水処理）~~

工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。

また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知）に基づいて適正に処理すること。

（参考URL　https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf）

~~②（千代川水系における濁水防止対策）~~

本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において〔未調整・調整済み〕である。

なお、未調整工事については、＿＿＿＿＿＿までに調整を行う予定である。

工事の実施にあたっては、現場説明書８、９を遵守し、汚濁等の防止に努めること。

建設副産物の処理

【建設発生土（処理）】

工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。

（参考URL　https://www.city.tottori.lg.jp/page/5562.html）

~~①（他工事等流用）~~

建設発生土は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿km）するものとする。

~~②（建設技術センター）~~

建設発生土は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m3当り＿＿＿＿＿円をセンターに支払うこと。

センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m2以上）

~~③（民間残土受入地）~~

建設発生土は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内の＿＿＿＿＿＿＿に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。なお、処理費として１m3当り＿＿＿＿＿円を＿＿＿＿＿＿に支払うこと。

民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状　（記載例）砂質土、コーン指数　300kN/m2以上　）

~~④（土質改良プラント）~~

建設発生土は＿＿市~~・町・村~~＿＿地内の＿＿に運搬（片道運搬距離＿＿km ）するものとする。なお、処理費として１m3当り＿円を＿＿＿に支払うこと。

土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状　（記載例）砂質土、コーン指数　300kN/m2以上　）

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】

~~①（分別解体等）~~

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。

コンクリート塊　１m3当り＿＿＿＿＿円
アスファルト塊　１m3当り＿＿＿＿＿円
建設発生木材　　１m3当り＿＿＿＿＿円

~~②（他工事等流用）~~

〔Co塊・　　〕は、＿＿＿市・町・村＿＿＿＿＿地内＿＿＿＿＿工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿＿km）するものとする。

建設副産物の処理

②　（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は　岩美郡岩美　~~市・町・村~~　浦富　地内の　吾妻商事㈱　のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離　26.9　km）を想定し、１ｔ当り　-4,000（幹）,-2,000(枝葉)　円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取市）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取市）・~~伐採・運搬を行う者~~〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

~~④（木材市場等へ売却）~~

建設発生木材は　　市・町・村　　地内の　　への搬出（片道運搬距離　　km）を想定し　　円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊　　鳥取　市~~・町・村~~　　地内の
（運搬距離　　km）、費用　１ｔ当り　　円

アスファルト塊　　市・町・村　　地内の
（運搬距離　　km）、費用　１ｔ当り　　円

建設発生木材　　岩美郡岩美　　~~市・町・村~~　浦富　地内の　吾妻商事㈱
（運搬距離　26.9　km）、費用　１ｔ当り　15,000（根株）　円

その他（　汚泥　）　鳥取　市~~・町・村~~　湖山町東　地内の　㈲森本組
（運搬距離　10.9　km）、費用　１ｍ３当り　13,200　円

（受入れ時間帯）　８時～１７時（平日）

（受入れ条件）　ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500㎜以下であること。
ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径　　cm以下、長さ　　m以下であること。
エ　２次災害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

~~⑥（最終処理等）~~

　　については、　　市・町・村　　地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離　　km）を想定し、その費用として１ｔ当り　　円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

~~⑦（産業廃棄物の処理に係る税）~~

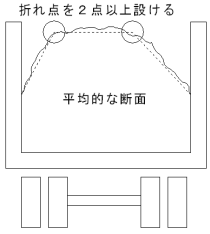
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、　　円見込んでいる。

⑧（伐木工歩掛及び参考数量）

伐木工は伐木工歩掛（令和元年10月15日付第201900175199号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工　種	項　目	規　格	摘　要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な１断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低２箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に１台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、２台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積(空m3)）が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩（マニフェスト）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

現　場　説　明　書

建設副産物の使用

~~①（建設発生土の使用）~~

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。

~~②（再生資材の使用）~~

ア　Co雑割材は、＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。

イ　ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ切削殻等は、＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。

ウ　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ〔規格：RC-＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

エ　再生ｺﾝｸﾘｰﾄ砂〔規格：RS-＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

オ　再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物〔規格：＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

カ　その他再生資材〔資材名：＿＿＿＿〕〔規格：＿＿＿＿〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。

キ　本工事において、再生クラッシャランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。

ク　本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用 を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することと し、設計変更の対象とする。

工事用道路

~~①（農地の一時転用について）~~

本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第５条第１項に基づく農地一時転用の許可を得ること。

【令和５年４月１日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】

受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。

~~②（農地の賃貸借）~~

ア　＿＿＿＿の用途に使用するため、鳥取市＿＿＿＿番地を賃貸借すること。

イ　土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。

ウ　賃貸人に賃貸借料を支払うこと。

エ　工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。

オ　イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。

その他

①（自社施工）　本工事においては、＿＿（※　鉄筋挿入　工~~（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工を除く）~~のうち少なくとも＿＿＿＿＿~~千円までの部分~~は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領（平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知）に定めるところにより自社施工しなければならない。

※該当する細別（レベル４）を記載する。

②（工事名称）　工事標示板に記載する名称は、＿＿＿＿災害復旧工事＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とする。

なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

③（監督体制）　本工事の監督体制は（一般~~・重点~~）監督とする。

重点監督の工種は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

~~④（三者協議）~~　本工事は、＿＿＿＿＿＿＿＿工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

~~⑤（技能士常駐）~~　本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿＿頁

イ　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿＿頁

ウ　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿＿頁

⑥（電子納品）　情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、「鳥取市電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

その他

⑦（情報共有システム）

予定価格１，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

予定価格１，５００万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑧（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月７日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑨（実施単価全面改定時の適用単価）

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑩（建設機械の賃料の採用単価）

建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン、高所作業車及び橋梁点検車は、通常単価を採用し、その他の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔~~無し・~~有り（　　ラフテレーンクレーン　　）〕

⑪（現場環境改善）

~~【災害復旧工事以外】（※該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と［ する・しない ］。~~

~~下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１内容ずつの合計４つの実施内容を実施すること。~~

~~実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。~~

~~地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。~~

~~１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。~~

~~また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。~~

~~計上費目~~	~~実施内容~~
~~仮設備関係~~	~~１．昇降設備の充実，２．環境対策の充実 ３．ICT設備の充実，４．作業負荷の低減~~
~~営繕関係~~	~~１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の充実 ３．現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） ４．衛生設備・厚生施設の充実~~
~~安全関係~~	~~１．工事標識・照明等安全施設の充実 ２．盗難防止対策 ３．健康関連施設の充実 ４．野生生物・害虫対策 ５．（港湾・漁港工事のみ）防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）~~
~~地域連携~~	~~１．広報活動等（完成予想図，工法説明，ＰＲ看板等） ２．見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） ３．社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） ４．現場景観向上（美装化・デザイン看板等~~

【災害復旧工事】（※該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

その他

⑫（熱中症対策）

熱中症対策について https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。 また、気象庁から高温注意報（最高気温３５℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑬（現場管理費補正）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・~~しない~~〕。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm（治山工事、林道工事の場合はhttps://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm）に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。

計測結果は施工計画書に基づき，計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

~~⑭（日本芝生産地への配慮）~~

日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア　〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イ　〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ　〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として○○を使用し、材料費として1m2当り＿＿円を見込んでいる。

⑮（ICT 活用工事[受注者希望型(LightICT を含む)]）

本工事は、受注者希望型(LightICT を含む)の対象工事である。ICT の活用を希望する場合は、最新の「ICT 活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。

仕様書の改定状況は https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm を参照すること。

⑯（現場代理人の兼務）

鳥取市発注工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について（令和2年6月5日付総務部長通知）に基づき、本工事は現場代理人の兼務について可能と〔~~する~~・しない〕

兼務可能な工事については、以下の条件を全て満たす場合に認めることとする。

１．対象

市発注工事及び業務（水道局が発注するものを除く。）のうち、以下の条件を全て満たすものについて、合計３件まで現場代理人の兼務を認める。

（１）請負代金額が１，５００万円以上の工事等は、３件のうち１件以下であること。

（２）兼務の対象となる各工事等の請負代金額が、いずれも４，５００万円（建築一式工事の場合は９，０００万円）未満であること。

（３）兼務を行おうとする現場代理人が、他の工事等で建設業法（昭和２４年法律第１００号）第２６条第３項の規定による専任を要する主任技術者又は監理技術者となっていないこと。

２．手続き

現場代理人を兼務させようとする場合は、現場代理人兼務届（様式第１号）に兼務の対象となる各工事等の位置図及び工程表を添付し、各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。

現場代理人の兼務状況に変更があった場合又は兼務を解除する場合（兼務の対象となっているいずれかの工事等が完成した時も含む。）は、現場代理人兼務状況変更届（様式第２号）を各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。

⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第２編第１２章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm に掲載の「土石流の発生・到 達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱（工事書類）

完成検査時に必要な工事書類については、最新の「土木工事書類作成の手引き」を参考にすること。

https://www.city.tottori.lg.jp/page/5579.html

~~⑲（評定対象外工事）~~

本工事は、建設工事成績評定要領第２条第１項各号のいずれかに該当する評定対象外工事であり、検査成績の工事成績評定の対象外（合否判定）とする。なお、完成検査時に必要な工事書類については、「土木工事書類簡素化マニュアル」を参考にすること。

https://www.city.tottori.lg.jp/page/5583.html

その他

~~⑳（掲示板の設置）~~

本工事は「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靭化対策工事（５か年加速化対策）」と標記すること。 標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

㉑（遠隔臨場）

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、最新の「鳥取市建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する試行要領」によること。

https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1683.html

㉒（快適トイレの試行）

１．内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（1）洋式便器
（2）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
（3）臭い逆流防止機能
（4）容易に開かない施錠機能
（5）照明設備
（6）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（7）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
（8）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
（9）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
(10) 鏡と手洗器
(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

(12) 室内寸法900×900㎜ 以上（面積ではない）
(13) 擬音装置（機能を含む）
(14) 着替え台
(15) 臭気対策機能の多重化
(16) 室内温度の調整が可能な設備
(17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

２．~~快適トイレに要する費用**【災害復旧工事、港湾工事、漁港工事以外】**（※該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。~~

~~また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。~~

２．快適トイレに要する費用**【災害復旧工事】**（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

２．~~快適トイレに要する費用**【港湾工事、漁港工事】**（※該当しない場合は削除）~~

~~快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。~~

~~受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。~~

~~【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。~~

~~なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基／工事（施工箇所）※1までを原則とするが、監督職員と協議により必要と認められる場合は、増設できるものとする。~~

~~また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基／工事（施工箇所）※1より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わないものとする。~~

~~ただし、海上運搬を伴う運搬・設置・撤去費用については、別途共通仮設費に積上げ計上※2 するものとする~~

※1　施工箇所が点在する工事など、トイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

※2　快適トイレの海上運搬費用については、1回あたり当該工事で使用する作業船供用損料0.5日分の費用を計上するものとする。なお、他の資材と混在して運搬する際には、快適トイレ個別での運搬費用は計上しない。

３．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

その他

㉓（大型コンクリートブロック積擁壁）

大型ブロック及び基礎コンクリートは○○○○○○（製品名を記載）(以下「想定製品」という。)同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。このことについては、https://www.pref.tottori.lg.jp/294903.htmに掲載の「大型ブロック積擁壁の設計及び積算の取り扱い」を参考にすること。

㉔（下請契約等）

下請契約を締結する場合は、最新の鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針（https://www.pref.tottori.lg.jp/211686.htm）に基づき、適正な下請契約とすること。

また、適切な賃金水準の確保と社会保険等への加入の徹底に努めること。

（https://www.pref.tottori.lg.jp/item/873746.htm#itemid873746 参照）

㉕（中東情勢の変化に伴う建設資材の設計変更）

本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下「調達検討資材」という。）の調達に必要となる経費について設計変更の対象工事である。

設計変更を希望する場合は、調達公告時点で最新の中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更要領（https://www.pref.tottori.lg.jp/117322.htm）に基づき、監督員と協議すること。

本工事における調達検討資材は下表を想定している。なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。

㉖（その他）

(1)工事区域において工事期間が重複する場合は、受注者間で調整を行うこと。
(2)現場周辺には民地があるため立入り等は事前に地元関係者の了解を得ること。
(3)工事区間内にある雑木等にて伐採が必要な場合は協議すること。
(4)法面崩落区間であり、雨天等異常気象時は崩落区間への立ち入り及び通行はしないこと。
(5)施工箇所山側に仮設水道管が設置されており、その本復旧を工事期間内に予定している。施工の際は別業者が立ち入るため、その際は発注者から連絡・指示を行う。

※ 明示する項目を　　部分に記入または追記し、不要部分は「－」で削除して使用すること。

若者にとって働きがいのある建設業であるために

R8.3

みんなで、適切な賃金水準を確保！
社会保険等への加入を徹底！

まじめに働く職人が報われるために



【現状と課題】

- **近年、建設投資の大幅な減少に伴う競争激化のしわ寄せが、労働者の賃金低下をもたらし、若年入職者が大きく減少**
- **今、適切な対策を講じなければ、将来の建設産業の存続が危惧される状況**

適切な賃金水準の確保や社会保険等への加入徹底により、就労環境を改善し、若年者の入職が進むような職場とする必要があります。

◆ 適切な賃金水準の確保、社会保険等への加入徹底の観点から、本県では公共工事設計労務単価を平成25年4月に11．5%、平成26年2月には6．6%、平成27年2月には4．1%、平成28年2月には3．6%、平成29年3月には3．2%、平成30年3月には3．1%、平成31年3月には1．4%、令和2年3月には2．5%、令和3年3月には0．8%、令和4年3月には2．8%、令和5年3月には4．4%、令和6年3月には6．4%、令和7年3月には7．6%、令和8年3月には5．6%引き上げ、平成24年度に比べ約85．3%の上昇となりました。

技能労働者への適切な水準の賃金支払

- □ 適切な価格での下請契約を締結しましょう
- □ 技能労働者への適切な水準の賃金支払を元請から下請に要請しましょう
- □ 雇用する技能労働者の賃金水準を引き上げましょう

社会保険等への加入徹底

- □ 法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）を適切に含んだ下請契約を締結しましょう
- □ 労働者に法定福利費相当額を適切に含んだ賃金を支払い、社会保険に加入させましょう

元請による下請への指導 （社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン）

- ➢ 周知啓発や加入状況の定期把握、加入指導（2次以下を含む。）
- ➢ 未加入企業を下請企業に選定しない取扱いとすべき
- ➢ 新規入場者の受け入れに際し、適切な保険に加入させるよう下請企業を指導。加入が確認できない作業員の現場入場を認めない取扱いとすべき

社会保険適用除外者（従業員が4人以下の個人事業主や一人親方）や適切な保険に加入している作業員に対して、誤って社会保険等の加入を強制することのないように注意が必要

請負契約における法定福利費の確保 （標準見積書の活用）

元請

- ➢ 発注者に対し法定福利費を含む金額による契約締結を求めましょう
- ➢ 専門工事業者に法定福利費が内訳明示された見積書の提示を求めるとともに、提示された場合、これを尊重しましょう

下請

- ➢ 法定福利費が内訳明示された見積書を活用等して、元請に見積提出しましょう

鳥取県県土整備部県土総務課



公共工事設計労務単価（主要10職種）変動率

鳥取県の公共工事設計労務単価は、全職種平均で平成２５年に１１．５％、平成２６年２月に６．６％、平成２７年２月に４．１％、平成２８年２月に３．６％、平成２９年３月に３．２％、平成３０年３月に３．１％、平成３１年３月に１．４％、令和２年３月に２．５％、令和３年３月に０．８％、令和４年３月に２．８％、令和５年３月に４．４％、令和６年３月に６．４％、令和７年３月に７．６％、令和８年３月に５．６％引き上げられ、平成２４年度に比べ約８５．３％の上昇となりました。主要１０職種の引き上げ率は下表のとおりです。

職種	単価（円）															
		対H24.4比	対H25.4比	対H26.2比	対H27.2比	対H28.2比	対H29.3比	対H30.3比	対H31.3比	対R2.3比	対R3.3比	対R4.3比	対R5.3比	対R6.3比	対R7.3比	上昇率
	H24.4	H25.4	H26.2	H27.2	H28.2	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R4.3	R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	対H24.4比
特殊作業員	13,800	10.9% 15,300	3.9% 15,900	1.3% 16,100	5.6% 17,000	0.0% 17,000	2.9% 17,500	4.0% 18,200	1.6% 18,500	0.5% 18,600	5.4% 19,600	2.0% 20,000	8.0% 21,600	6.0% 22,900	3.1% 23,600	71.0%
普通作業員	10,800	11.1% 12,000	4.2% 12,500	1.6% 12,700	8.7% 13,800	0.0% 13,800	2.9% 14,200	4.2% 14,800	1.4% 15,000	0.0% 15,000	3.3% 15,500	3.2% 16,000	5.0% 16,800	6.5% 17,900	1.7% 18,200	68.5%
軽作業員	9,500	14.7% 10,900	3.7% 11,300	0.9% 11,400	6.1% 12,100	0.0% 12,100	3.3% 12,500	4.0% 13,000	1.5% 13,200	0.0% 13,200	0.0% 13,200	6.1% 14,000	8.6% 15,200	6.6% 16,200	4.9% 17,000	78.9%
とび工	15,000	12.0% 16,800	7.1% 18,000	5.0% 18,900	5.3% 19,900	3.0% 20,500	3.4% 21,200	0.5% 21,300	2.3% 21,800	0.0% 21,800	5.0% 22,900	1.7% 23,300	3.4% 24,100	6.6% 25,700	8.9% 28,000	86.7%
鉄筋工	14,900	12.1% 16,700	7.2% 17,900	5.0% 18,800	5.3% 19,800	2.5% 20,300	3.0% 20,900	0.5% 21,000	2.4% 21,500	0.0% 21,500	0.0% 21,500	0.9% 21,700	17.1% 25,400	6.3% 27,000	9.3% 29,500	98.0%
運転手（特殊）	12,900	10.9% 14,300	3.5% 14,800	1.4% 15,000	5.3% 15,800	0.0% 15,800	3.2% 16,300	4.3% 17,000	1.8% 17,300	0.0% 17,300	4.0% 18,000	2.2% 18,400	7.6% 19,800	5.6% 20,900	3.3% 21,600	67.4%
運転手（一般）	11,100	10.8% 12,300	4.9% 12,900	1.6% 13,100	6.1% 13,900	0.0% 13,900	2.9% 14,300	4.2% 14,900	1.3% 15,100	2.6% 15,500	5.2% 16,300	2.5% 16,700	8.4% 18,100	6.1% 19,200	2.1% 19,600	76.6%
型わく工	14,600	12.3% 16,400	7.3% 17,600	5.1% 18,500	5.4% 19,500	2.6% 20,000	3.0% 20,600	0.5% 20,700	2.4% 21,200	2.8% 21,800	0.0% 21,800	6.4% 23,200	5.2% 24,400	6.1% 25,900	7.7% 27,900	91.1%
大工	14,900	12.1% 16,700	7.2% 17,900	5.0% 18,800	5.3% 19,800	2.5% 20,300	3.0% 20,900	0.5% 21,000	2.4% 21,500	0.0% 21,500	0.0% 21,500	5.6% 22,700	3.5% 23,500	6.4% 25,000	8.8% 27,200	82.6%
左官	14,200	12.0% 15,900	7.5% 17,100	5.3% 18,000	5.6% 19,000	2.6% 19,500	3.1% 20,100	0.5% 20,200	2.0% 20,600	0.0% 20,600	0.0% 20,600	4.9% 21,600	3.7% 22,400	8.9% 24,400	3.7% 25,300	78.2%

【公共工事設計労務単価とは？】

・公共工事の予定価格の算出に用いる積算用の単価で、作業員やとび工など技能労働者５１職種について定めています。

・各職種の通常の作業条件及び作業内容の労働（所定時間内）に対する単価で、時間外等の割増賃金や作業内容を超えた特殊な労働に対する賃金は含まれていません。

・労務単価の内訳は次のとおりです。

労務単価 ＝ １．基本給相当額 ＋ ２．基準内手当 ＋ ３．臨時の給与 ＋ ４．実物給与

１．基本給相当額　基本給（**法定福利費本人負担分相当額を含む。**）及び出来高給

２．基準内手当　　家族手当、通勤手当、住宅手当、技能手当など

３．臨時の給与　　賞与（ボーナス）など

４．実物給与　　通勤定期や食事の支給など

注：法定福利費事業主負担分は、現場管理費に計上されています（労務単価には、法定福利費事業主負担分は含まれていません。）。

・新しい労務単価は、労務費調査により賃金の支払い実態を把握し、その結果を基に決定します。よって、**労務単価が適切な水準に維持されるためには、末端の下請企業の技能労働者に至るまで持続可能性を確保できる水準の賃金が適切に支払われることが重要となります。**

【例】普通作業員（18,200円／日、20日／月勤務）の場合

月当たり18,200(円/日)×20(日)＝364,000円となり、これは上記枠内の１．～４．により算定した年収（4,368千円）を12ヶ月で除したものに相当し、法定福利費（雇用保険、医療保険及び年金保険）の本人負担相当額（約１５％）が含まれています。

鳥取県県土整備部県土総務課

公共工事設計労務単価と法定福利費

－ 適正な金額での下請契約のために －

公共工事設計に計上されている各工種の労務費及び諸経費（現場管理費）には、法定福利費が含まれています。下請契約にあたっては、法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）を適切に含んだ金額で締結してください。
また、労働者に法定福利費相当額を含んだ賃金を支払い、社会保険等への加入を徹底しましょう。
なお、法定福利費相当額（労働者負担分及び事業主負担分）の算出に当たっては、下記を参考にしてください。

代表的な専門工種の労務に係る法定福利費相当額の算定例（R8.3 月以降）

■標準単価（公共工事設計標準歩掛及び労務単価による）

各工種の標準的な積算条件による単価は以下のとおり（直接工事費原価ベース）ですが、詳細な積算条件等は、公表設計書をご覧ください。

工種名	規格	単位	標準単価		
				労務費	器具及び諸雑費
鉄筋工 ※１	D10～D51	t	59,000 円 (100.0%)	57,466 円 (97.4%)	1,534 円 (2.6%)
足場工	手摺先行型足場	掛㎡	4,889 円 (100.0%)	2,627 円 (53.7%)	2,262 円 (46.3%)
型枠工 ※２	鉄筋・無筋構造物	㎡	8,653 円 (100.0%)	7,036 円 (81.3%)	1,617 円 (18.7%)

※１　鉄筋工の値は、鉄筋材料費を含まず、また市場単価のため、Ｈ４歩掛の構成比率から算定。
※２　型枠工の値は、施工パッケージのため、構成比から法定福利費の対象となる労務費を算定。

詳細な内訳は、下記ホームページを参照してください。
http://www.pref.tottori.lg.jp/tekiseishitauke/

注）下請金額には、上記の標準単価の他に、運搬費、会社経費等の諸経費の計上が必要です。

■法定福利経費の算出

	①標準単価（直接工事費原価）	②うち労務費		③事業主負担分法定福利費（現場管理費分に計上）
			うち労働者負担分法定福利費	
鉄筋工	59,000 円/ｔ	57,466 円/ｔ	8,930 円/ｔ	9,390 円/ｔ
足場工	4,889 円/掛㎡	2,627 円/掛㎡	408 円/掛㎡	429 円/掛㎡
型枠工	8,653 円/㎡	7,036 円/㎡	1,093 円/㎡	1,150 円/㎡

◎労働者負担分の算定式　労務費×155.40÷1,000
◎事業主負担分の算定式　労務費×163.50÷1,000　※R8.3 月以降の率

●元請から下請事業主に支払われる部分　⇒①（単価）＋③（事業主負担分法定福利費）

●下請事業主から下請労働者に支払われる部分　⇒②（労務費）

※労務費に労働者負担分法定福利費を含む

鳥取県県土整備部技術企画課

別表３　　（Ａ４）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

分別解体等の計画等

工作物の構造（解体工事のみ）		□ 鉄筋コンクリート造　□ その他（　　）
工事の種類		□ 新築工事　□ 維持・修繕工事　□ 解体工事 □ 電気　□ 水道　□ ガス　□ 下水道　□ 鉄道　□ 電話 ☑ その他（　災害復旧工事　）
使用する特定建設資材の種類（新築・維持・修繕工事のみ）		□ コンクリート　□ コンクリート及び鉄から成る建設資材 □ アスファルト・コンクリート　☑ 木材
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数　　年 その他（　　）
	周辺状況	周辺にある施設　□ 住宅　□ 商業施設　□ 学校 □ 病院　□ その他（　　） 敷地境界との最短距離　約　0　m その他（　　）

			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	作業場所		作業場所　☑ 十分　□ 不十分 その他（現道上における工事）	交通規制にて周知徹底
	搬出経路		障害物　□ 有（　）　☑ 無 前面道路の幅員　約　4.0　m程度 通学路　□ 有　☑ 無 その他（現道上における工事）	地元関係者へ工事内容の周知を図る
	特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ）		□ 有 （　　） ☑ 無	
	他法令関係（解体・維持・修繕工事のみ）	石綿（大気汚染防止法・安全衛生法石綿則）	□ 有 特定建設資材への付着（ □有　□無 ） ☑ 無	
	その他		無し	関係者に工事の内容を広報、周知する。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法（解体工事のみ）
	①仮設	仮設工事　□ 有　☑ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事　□ 有　☑ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事　□ 有　☑ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事　□ 有　☑ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事　□ 有　☑ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他　（　）	その他の工事　☑ 有　□ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用

工事の工程の順序（解体工事のみ）	□　上の工程における⑤→④→③の順序 □　その他（　　） その他の場合の理由（　　）
工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ）	トン

廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ）	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分（注）
		□　コンクリート塊	トン	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥
		□　ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	トン	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥
		☑　建設発生木材	4.8　トン	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ ☑ ⑥
	（注）　①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他			

備考

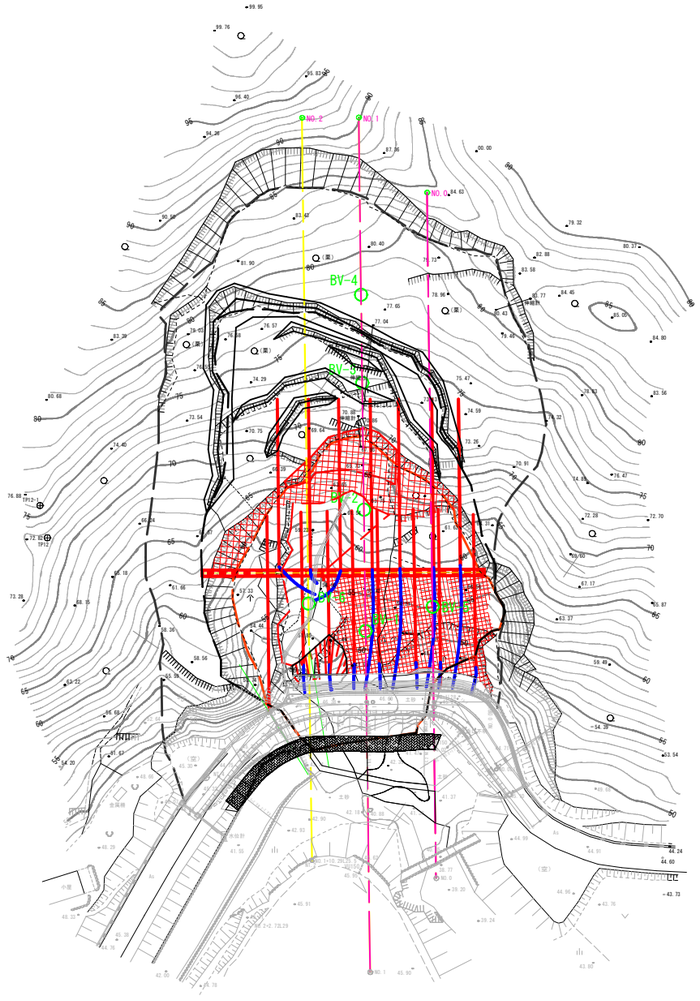
□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

図面は
A1図面をA3に縮小している。

位　置　図

施工箇所

路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	位　置　図		
単　位	m，㎜	縮　尺	1：100
令和	8　年度施行	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　1		



吹付枠工（300×300-1500×1500）
A=387m2、L=601.1m
鉄筋挿入工（D19×L=4.0m）
N=224本

吹付枠工（300×300-2000×2000）
A=512m2、L=602.8m

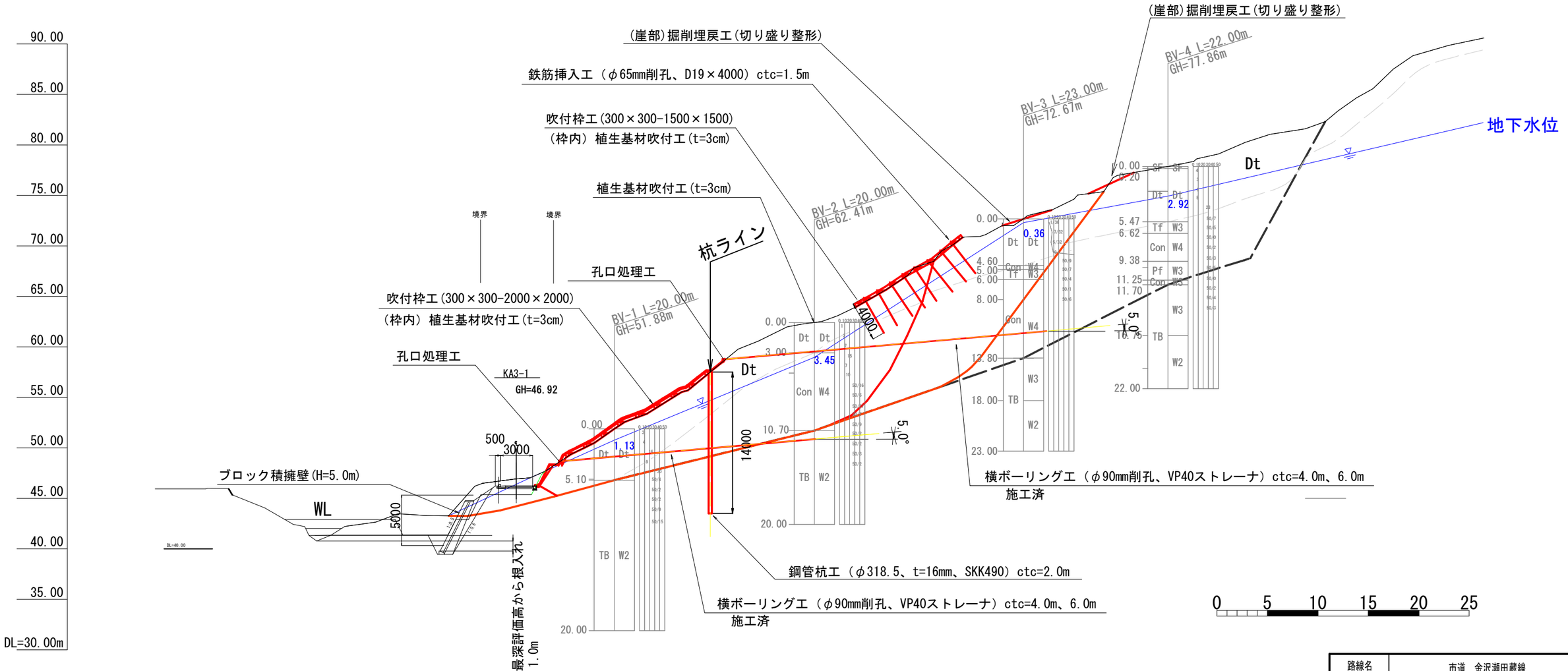
植生基材吹付工（t=3cm） A=357m2

鋼管杭工（φ318.5、t=16mm、SKK490、L=6.5～14.5m）ctc=2.0m N=23本

復旧延長 L=４６．０m

路線名	市道 金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その２）		
位 置	鳥取市 瀬田蔵 地内		
図 名	計画平面図		
単 位	m	縮 尺	1：500
令和	８年度施工	鳥 取 市	
図 番	全 15 葉中 2		

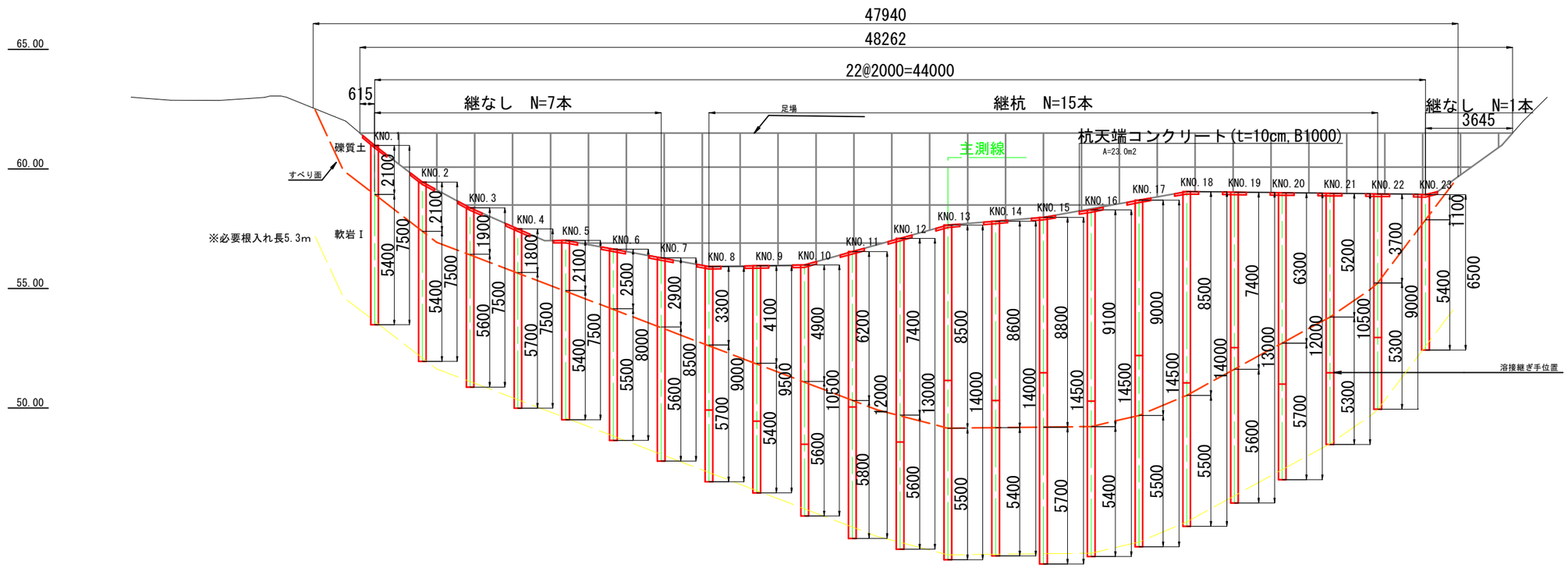
標準断面図



路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その2）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	標準断面図		
単　位	m	縮　尺	1：200
令和	8年度施工	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　3		

鋼管杭工縦断図

(A1) S=1:100
(A3) S=1:200



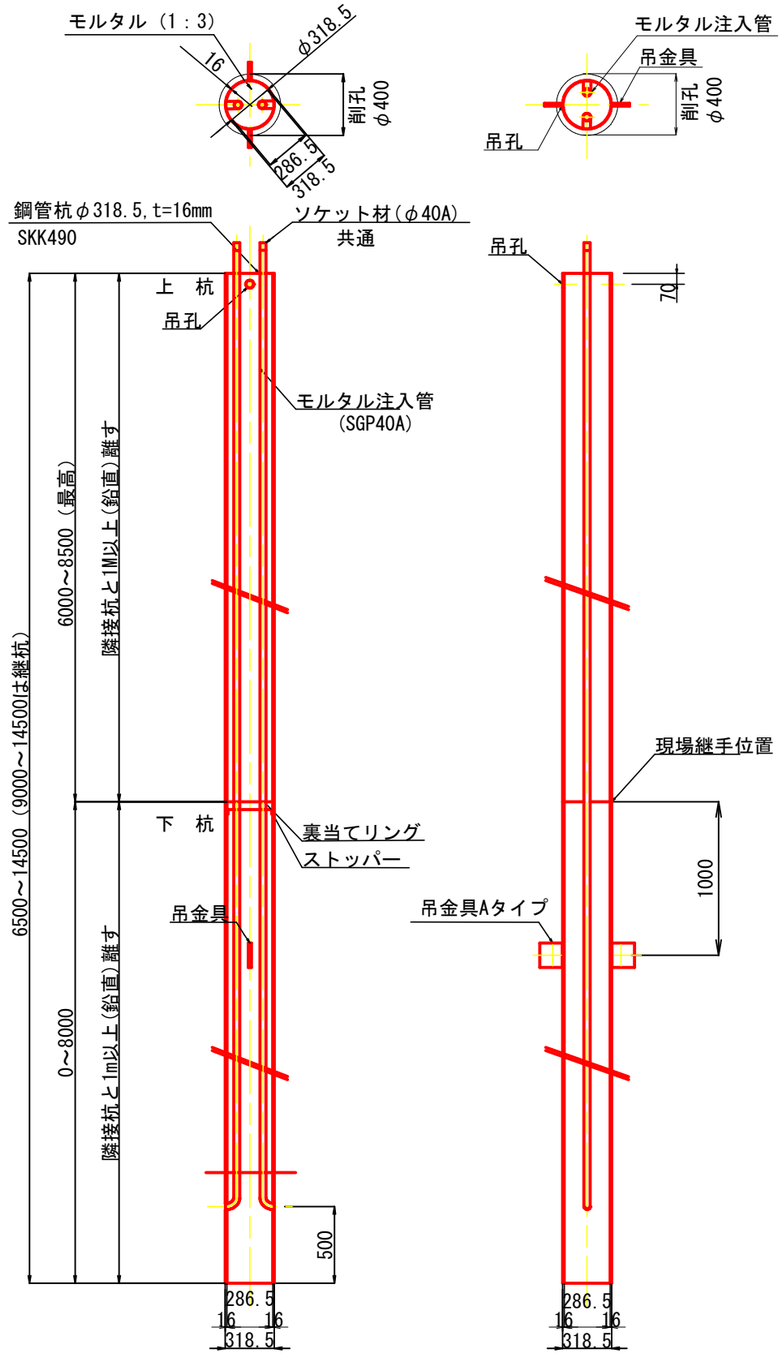
鋼管杭工　数量表

工種	規格・寸法	単位	杭NO.																						合計	備考
			KNO.1	KNO.2	KNO.3	KNO.4	KNO.5	KNO.6	KNO.7	KNO.8	KNO.9	KNO.10	KNO.11	KNO.12	KNO.13	KNO.14	KNO.15	KNO.16	KNO.17	KNO.18	KNO.19	KNO.20	KNO.21	KNO.22	KNO.23		
杭径		mm	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5	318.5		
削孔径		m	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		
杭長		m	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	8.00	8.50	9.00	9.50	10.50	12.00	13.00	14.00	14.00	14.50	14.50	14.50	14.00	13.00	12.00	10.50	9.00	6.50	244.5	
上杭長		m	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	8.00	8.50	6.00	6.50	7.50	6.50	8.50	6.50	7.50	6.50	8.00	6.50	8.00	6.50	8.00	7.50	6.00	6.50		
下杭長		m	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	5.50	4.50	7.50	6.50	8.00	6.50	8.00	6.00	6.50	4.00	3.00	3.00	0.00		
杭材(L=6.0～12.0)	490材,φ318.5,t=16mm	t	0.893	0.893	0.893	0.893	0.893	0.952	1.012	0.714	0.774	0.774	0.952	1.012	1.666	1.666	1.726	1.726	1.726	1.666	0.952	0.774	0.893	0.714	0.774	25.5	
杭材(L=3.0～5.9)	490材,φ318.5,t=16mm	t								0.357	0.357	0.476	0.476	0.536							0.595	0.655	0.357	0.357		3.6	
継手	490材,φ318.5,t=16mm	箇所	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	15.0	
吊孔加工	490材,φ318.5,t=16mm	箇所	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	46.0	
吊金具		枚	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	30.0	
注入管	SGP40A、定尺5.5m	m	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	21.0	24.0	26.0	28.0	28.0	29.0	29.0	29.0	28.0	26.0	24.0	21.0	18.0	13.0	489.0	※ネット数量
注入管、エルボ	SGP40A	ケ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	46.0	
注入管、ソケット	SGP40A	ケ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	66.0	
大口径ボーリング工	φ400、礫質土	m	2.1	2.1	1.9	1.8	2.1	2.5	2.9	3.3	4.1	4.9	6.2	7.4	8.5	8.6	8.8	9.1	9.0	8.5	7.4	6.3	5.2	3.7	1.1	117.6	
大口径ボーリング工	φ400、軟岩Ⅰ	m	5.4	5.4	5.6	5.7	5.4	5.5	5.6	5.7	5.4	5.6	5.8	5.6	5.5	5.4	5.7	5.4	5.5	5.5	5.6	5.7	5.3	5.3	5.4	126.9	
充填材料	モルタル 1:3	m3	1.037	1.037	1.037	1.037	1.037	1.106	1.175	1.244	1.313	1.451	1.659	1.797	1.935	1.935	2.004	2.004	2.004	1.935	1.797	1.659	1.451	1.244	0.898	33.8	

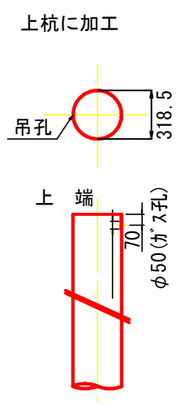
路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その2）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　　地内		
図　名	鋼管杭工縦断図		
単　位	m,mm	縮　尺	1：100
令和	8　年度施工　　鳥　取　市		
図　番	全　15　葉中　4		

鋼管杭工構造図(φ318.5、t=16mm)

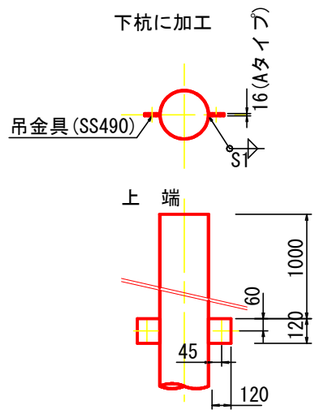
標準断面図 (A1)S=1:20 (A3)S=1:40



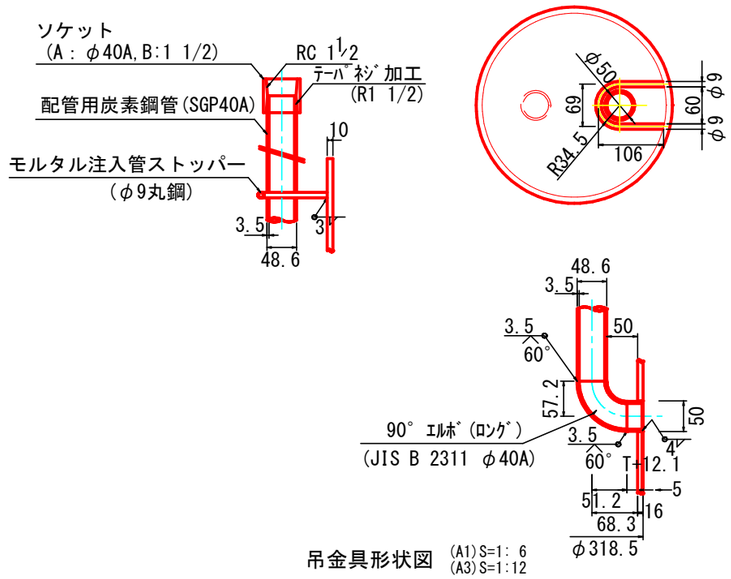
吊孔位置詳細 (A1)S=1:20 (A3)S=1:40



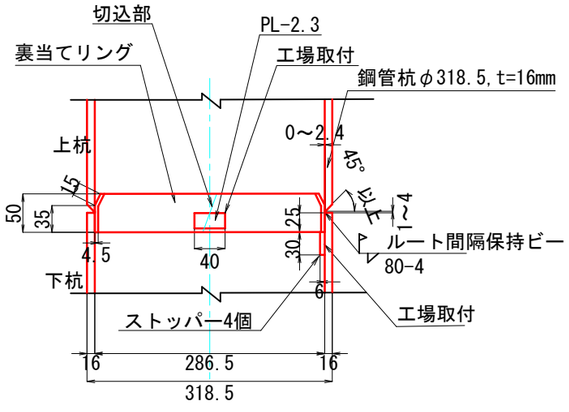
吊金具取付位置詳細 (A1)S=1:20 (A3)S=1:40



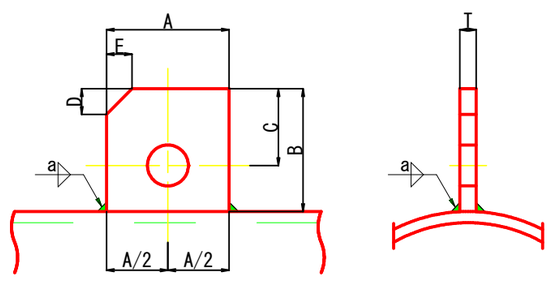
モルタル注入管取付詳細 (A1)S=1:5 (A3)S=1:10



継手溶接部詳細 (A1)S=1:4 (A3)S=1:8

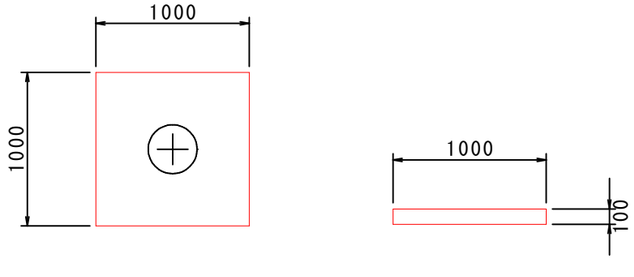


吊金具形状図 (A1)S=1:6 (A3)S=1:12



	最大吊り荷重 (ton)	A	B	C	D	E	T	φ	a
Aタイプ	５以下	120	120	75	25	25	16	40	9
Bタイプ	５を超え～１０以下	200	150	90	30	30	22	65	15
Cタイプ	１０を超え～２０以下	300	250	150	50	50	22	80	15

鋼管杭天端処理 S=1/20

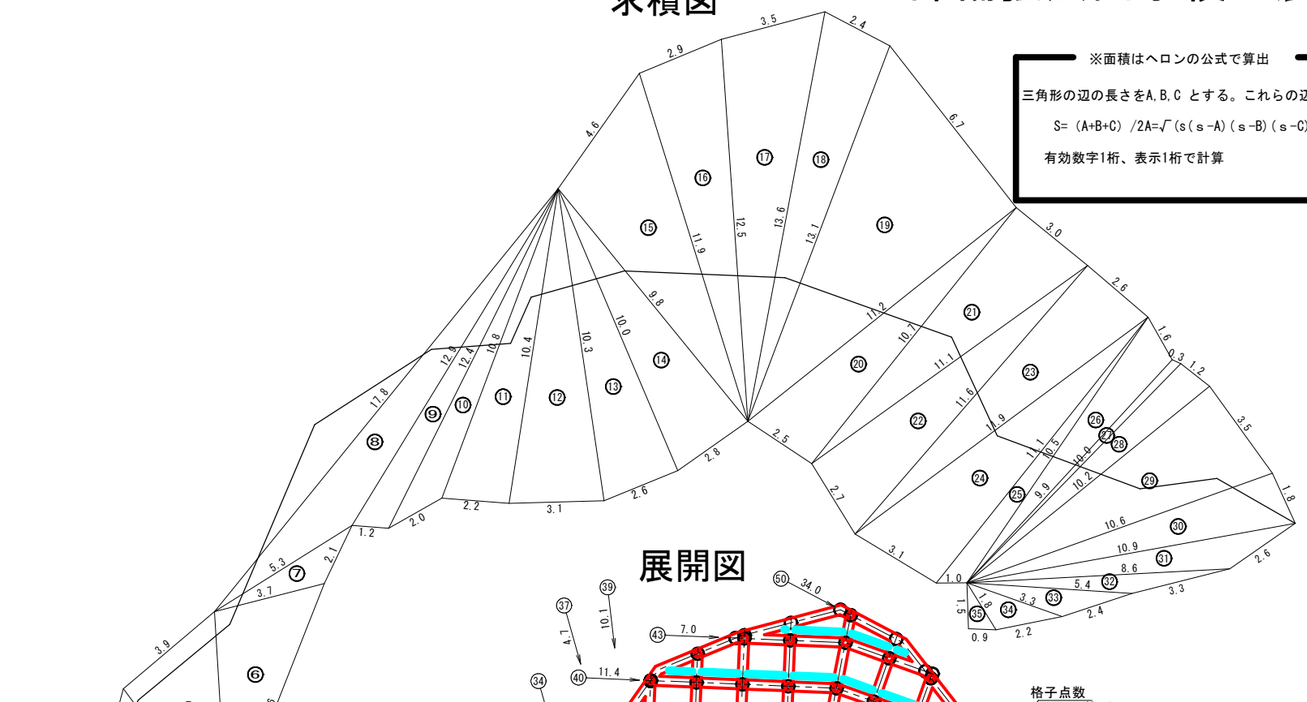


路線名	市道 金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 (その２)		
位 置	鳥取市 瀬田蔵 地内		
図 名	鋼管杭工構造図(φ318.5、t=16mm)		
単 位	m,mm	縮 尺	図示
令和	8 年度施工	鳥 取 市	
図 番	全 15 葉中 5		

上部補強法面求積・展開図

(A1) S＝1：100
(A3) S＝1：200

求積図



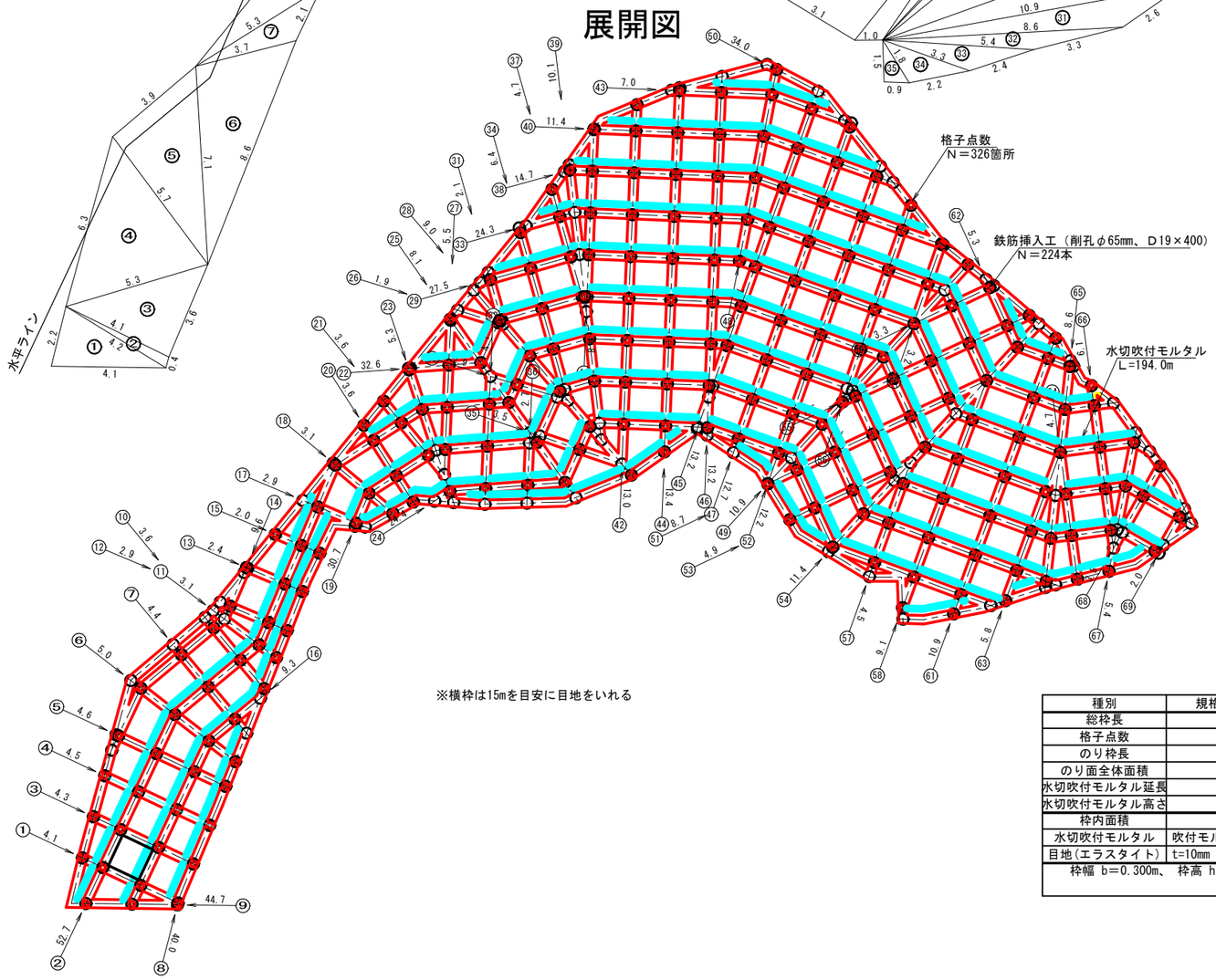
※面積はヘロンの公式で算出

三角形の辺の長さをA,B,C とする。これらの辺の長さから、

S＝（A+B+C）/2A=√（s（s－A）（s－B）（s－C））

有効数字1桁、表示1桁で計算

展開図



※横枠は15mを目安に目地をいれる

上部鉄筋挿入補強斜面

NO.	A(m)	B(m)	C(m)	(A+B+C)/2	面積(㎡)
1	2.2	4.1	4.2	5.25	4.4
2	4.2	0.4	4.1	4.35	0.8
3	4.1	3.6	5.3	6.50	7.4
4	5.3	6.3	5.7	8.65	14.2
5	5.7	3.9	7.1	8.35	11.1
6	7.1	8.6	3.7	9.70	12.9
7	3.7	2.1	5.3	5.55	3.0
8	5.3	17.8	12.9	18.00	15.3
9	12.9	1.2	12.4	13.25	6.9
10	12.4	2.0	10.8	12.60	6.9
11	10.8	2.2	10.4	11.70	11.4
12	10.4	3.1	10.3	11.90	15.9
13	10.3	2.6	10.0	11.45	13.0
14	10.0	2.8	9.8	11.30	13.7
15	9.8	4.6	11.9	13.15	21.7
16	11.9	2.9	12.5	13.65	17.2
17	12.5	3.5	13.6	14.80	21.5
18	13.6	2.4	13.1	14.55	15.6
19	13.1	6.7	11.2	15.50	37.5
20	11.2	2.5	10.7	12.20	13.3
21	10.7	3.0	11.1	12.40	16.0
22	11.1	2.7	11.6	12.70	15.0
23	11.6	2.6	11.9	13.05	15.1
24	11.9	3.1	11.1	13.05	17.1
25	11.1	1.0	10.5	11.30	4.3

NO.	A(m)	B(m)	C(m)	(A+B+C)/2	面積(㎡)
26	10.5	1.6	9.9	11.00	7.5
27	9.9	0.3	10.0	10.10	1.4
28	10.0	1.2	10.2	10.70	6.0
29	10.2	3.5	10.6	12.15	17.8
30	10.6	1.8	10.9	11.65	9.5
31	10.9	2.6	8.6	11.05	5.9
32	8.6	3.3	5.4	8.65	2.7
33	5.4	2.4	3.3	5.55	2.4
34	3.3	2.2	1.8	3.65	1.9
35	1.8	0.9	1.5	2.10	0.7
合計					387.0

No.	枠長 (m)
1	4.1
2	52.7
3	4.3
4	4.5
5	4.6
6	5.0
7	4.4
8	40.0
9	44.7
10	3.6
11	3.1
12	2.9
13	2.4
14	9.6
15	2.0
16	9.3
17	2.9
18	3.1
19	30.7
20	3.6

No.	枠長 (m)
21	3.6
22	32.6
23	5.3
24	24.4
25	8.1
26	1.9
27	5.5
28	9.0
29	27.5
30	2.9
31	2.1
32	4.7
33	24.3
34	6.4
35	3.5
36	2.7
37	4.7
38	14.7
39	10.1
40	11.4

No.	枠長 (m)
41	6.8
42	13.0
43	7.0
44	13.4
45	13.2
46	13.2
47	12.7
48	7.1
49	10.9
50	34.0
51	8.7
52	12.2
53	4.9
54	11.4
55	7.5
56	7.6
57	4.5
58	9.1
59	3.3
60	3.2

No.	枠長 (m)
61	10.9
62	5.3
63	5.8
64	4.7
65	8.6
66	6.1
67	5.4
68	3.5
69	2.0
合計	698.9

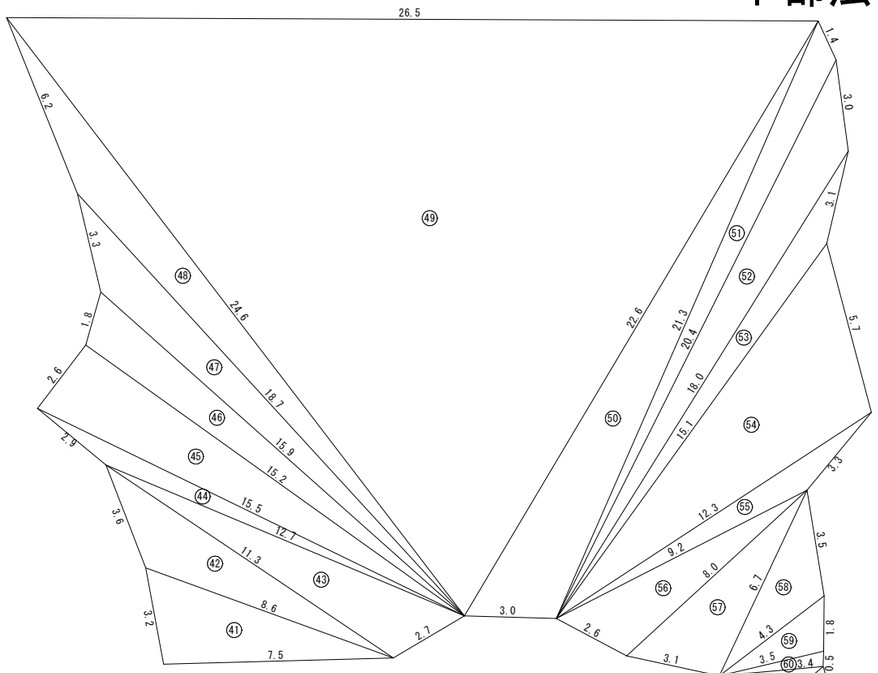
種別	規格	計算式	単位	数量
総枠長		Lo ＝ 698.9 m	m	698.9
格子点数		N ＝ 326 ヶ所	ヶ所	326
のり枠長		L ＝ Lo-b×N ＝ 698.9-0.300×326	m	601.1
のり面全体面積		Ao ＝ 387.0 m2	m2	387.0
水切吹付モルタル延長		Lw ＝194.0	m	194.0
水切吹付モルタル高さ		hw ＝ n×h ＝ 1.19×0.300	m	0.357
枠内面積		A ＝ Ao-L×b-Lw×hw＝387.0-601.1×0.300-194.0×0.357	m2	137.4
水切吹付モルタル	吹付モルタル	Vw ＝ hw×h/2×Lw＝ 0.357×0.300/2×194.0	m3	10.39
目地(エラスタイト)	t=10mm	Am ＝ L/2/15.0×0.3×0.3＝ 601.1/2/15.0×0.09	m2	1.8
枠幅 b＝0.300m、 枠高 h＝0.300m				

路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	上部補強法面求積図・展開図		
単　位	m	縮　尺	1：100
令和	8　年度施行	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　6		

下部法面求積・展開図

(A1) S=1:100
(A3) S=1:200

求積図



※面積はヘロンの公式で算出

三角形の辺の長さをA,B,C とする。これらの辺の長さから、

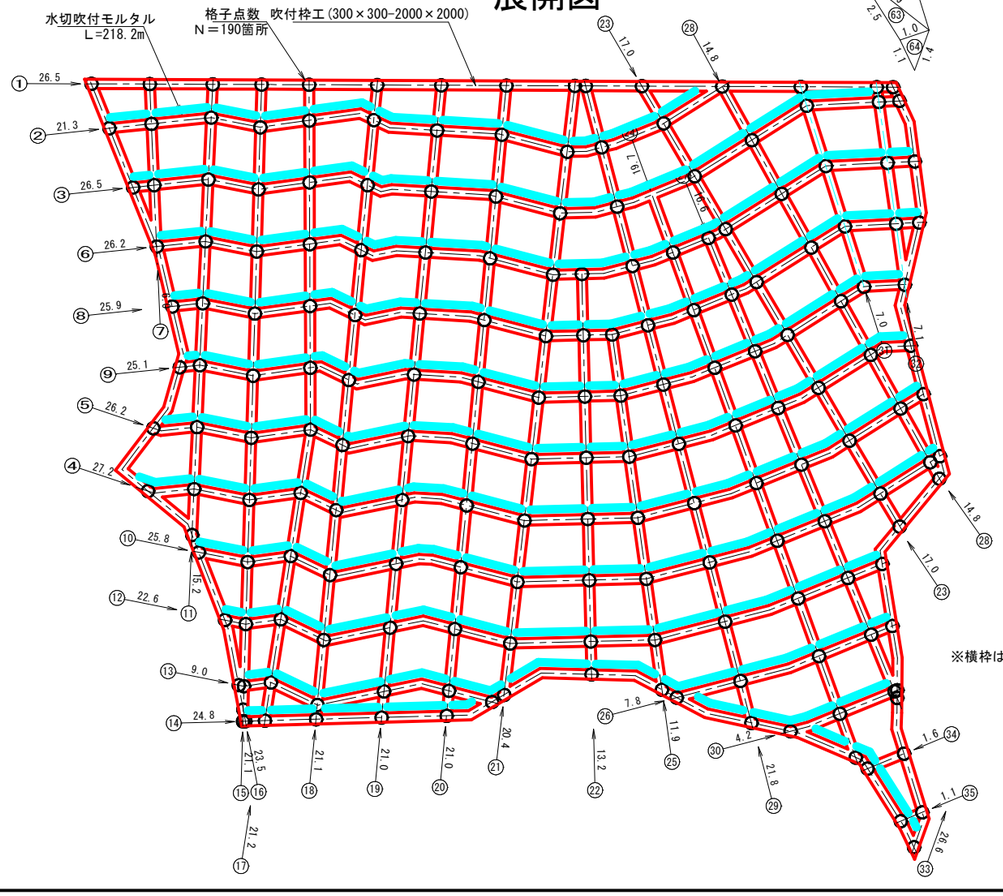
S=（A+B+C）/2A=√（s(ｓ-A)(ｓ-B)(ｓ-C)）

有効数字1桁、表示1桁で計算

下部保護工

NO.	A(m)	B(m)	C(m)	(A+B+C)/2	面積(m²)
41	7.5	3.2	8.6	9.65	11.9
42	8.6	3.6	11.3	11.75	11.7
43	11.3	2.7	12.7	13.35	13.8
44	12.7	2.9	15.5	15.55	5.3
45	15.5	2.6	15.2	16.65	19.8
46	15.2	1.8	15.9	16.45	12.9
47	15.9	3.3	18.7	18.95	15.0
48	18.7	6.2	24.6	24.75	20.4
49	24.6	26.5	22.6	36.85	258.0
50	22.6	3.0	21.3	23.45	29.6
51	21.3	1.4	20.4	21.55	11.2
52	20.4	3.0	18.0	20.70	17.2
53	18.0	3.1	15.1	18.10	9.0
54	15.1	5.7	12.3	16.55	33.3
55	12.3	3.3	9.2	12.40	6.0
56	9.2	2.6	8.0	9.90	9.8
57	8.0	3.1	6.7	8.90	10.1
58	6.7	3.5	4.3	7.25	6.6
59	4.3	1.8	3.5	4.80	3.1
60	3.5	0.5	3.4	3.70	0.8
61	3.4	2.2	1.8	3.70	1.8
62	1.8	3.1	2.9	3.90	2.6
63	2.9	2.5	1.0	3.20	1.2
64	1.0	1.4	1.1	1.75	0.5
合計					511.6

展開図



※横枠は15mを目安に目地をいれる

No.	枠長 (m)
1	26.5
2	21.3
3	26.5
4	27.2
5	26.2
6	26.2
7	6.0
8	25.9
9	25.1
10	25.8
11	15.2
12	22.6
13	9.0
14	24.8
15	23.5
16	21.1
17	21.2
18	21.1
19	21.0
20	21.0

No.	枠長 (m)
21	20.4
22	13.2
23	17.0
23	17.0
24	19.7
25	11.9
26	7.8
27	16.6
28	14.8
28	14.8
29	21.8
30	4.2
31	7.0
32	7.1
33	26.6
34	1.6
35	1.1
合計	659.8

種別	規格	計算式	単位	数量
総枠長		Lo ＝ 659.8 m	m	659.8
格子点数		N ＝ 190 ヶ所	ヶ所	190
のり枠長		L ＝ Lo-b×N ＝ 659.8-0.300×190	m	602.8
のり面全体面積		Ao ＝ 511.6 m2	m2	511.6
水切吹付モルタル延長		Lw ＝218.2	m	218.2
水切吹付モルタル高さ		hw ＝ n×h ＝ 1.60×0.300	m	0.480
枠内面積		A ＝Ao-L×b-Lw×hw＝511.6-602.8×0.300-218.2×0.480	m2	226.0
水切りコンクリート	吹付モルタル	Vw ＝ hw×h/2×Lw ＝ 0.480×0.300/2×218.2	m3	15.71
目地(エラスタイト)	t=10mm	Am ＝ L/2/15.0×0.3×0.3＝ 602.8/2/15.0×0.09	m2	1.8
枠幅 b=0.300m、 枠高 h=0.300m				

路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	下部法面求積・展開図		
単　位	m	縮　尺	1：100
令和	8 年度施行	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　7		

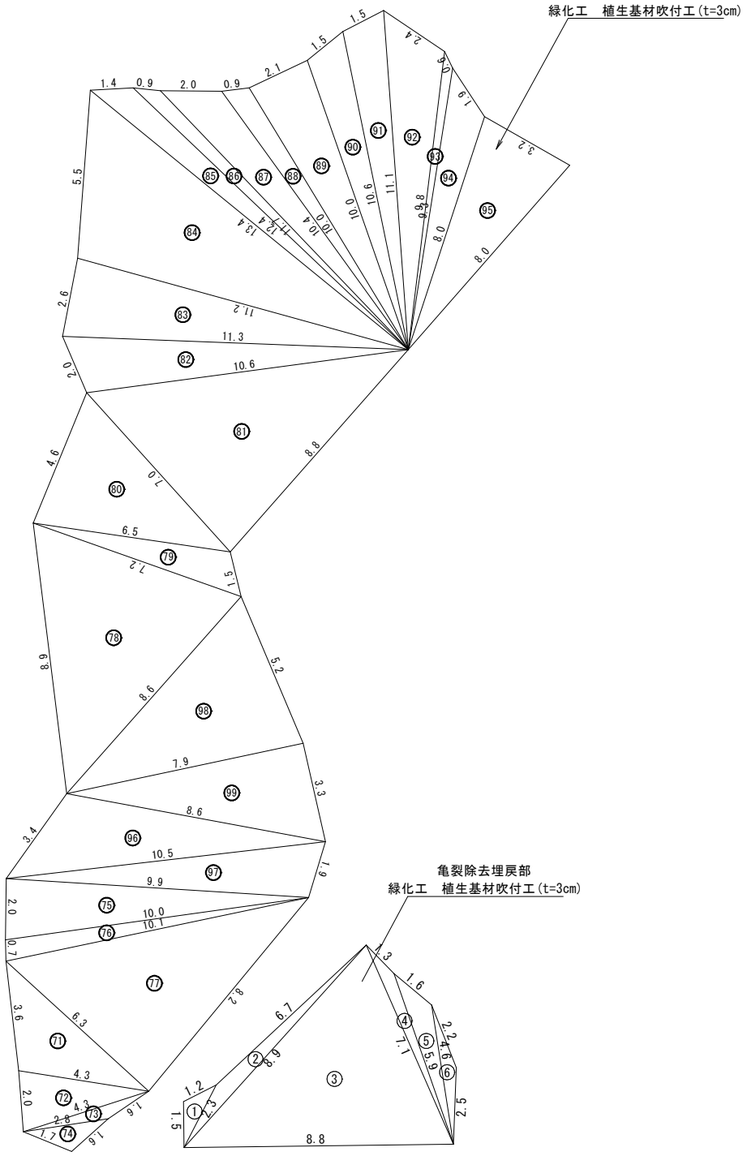
緑化法面求積図 （A1）S=1:100 （A3）S=1:200

※面積はヘロンの公式で算出

三角形の辺の長さをA,B,C とする。これらの辺の長さから、

S= (A+B+C) /2 A=√(s(s-A)(s-B)(s-C))

有効数字1桁、表示1桁で計算



緑化工

NO.	A(m)	B(m)	C(m)	(A+B+C)/2	面積(㎡)
71	6.3	3.6	4.3	7.10	7.5
72	4.3	2.0	4.3	5.30	4.2
73	4.3	1.6	2.8	4.35	1.0
74	2.8	1.6	1.7	3.05	1.2
75	9.9	2.0	10.0	10.95	9.9
76	10.0	0.7	10.1	10.40	3.5
77	10.1	8.2	6.3	12.30	25.8
78	8.6	8.9	7.2	12.35	28.7
79	7.2	1.5	6.5	7.60	4.5
80	6.5	4.6	7.0	9.05	14.5
81	7.0	8.8	10.6	13.20	30.6
82	10.6	2.0	11.3	11.95	10.2
83	11.3	2.6	11.2	12.55	14.5
84	11.2	5.5	13.4	15.05	30.2
85	13.4	1.4	12.4	13.60	6.3
86	12.4	0.9	11.7	12.50	3.4
87	11.7	2.0	10.4	12.05	8.4
88	10.4	0.9	10.0	10.65	4.1
89	10.0	2.1	10.0	11.05	10.4
90	10.0	1.5	10.6	11.05	7.1
91	10.6	1.5	11.1	11.60	7.7
92	11.1	2.4	9.8	11.65	10.5
93	9.8	0.6	9.3	9.85	1.6
94	9.3	1.9	8.0	9.60	6.0
95	8.0	3.2	8.0	9.60	12.5
96	8.6	3.4	10.5	11.25	13.2
97	10.5	1.9	9.9	11.15	9.2
98	8.6	5.2	7.9	10.85	20.2
99	7.9	8.6	3.3	9.90	13.0
小計					319.9

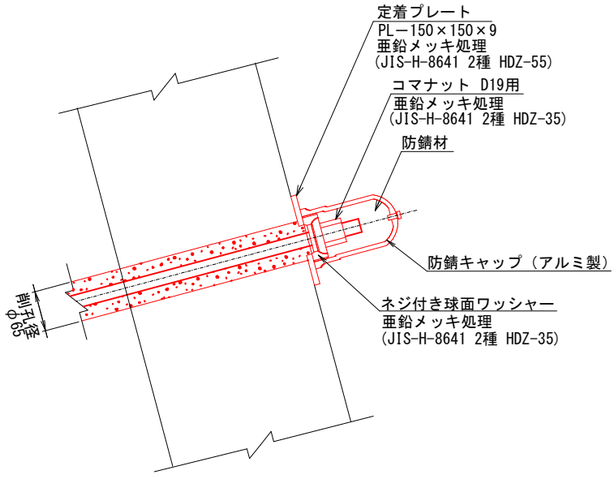
亀裂除去埋戻部

NO.	A(m)	B(m)	C(m)	(A+B+C)/2	面積(㎡)
1	1.2	1.5	2.3	2.50	0.8
2	2.3	6.7	8.9	8.95	2.6
3	8.9	8.8	7.1	12.40	28.8
4	7.1	1.3	5.9	7.15	1.6
5	5.9	1.6	4.6	6.05	2.4
6	4.6	2.2	2.5	4.65	1.1
小計					37.3
				合計	357.2

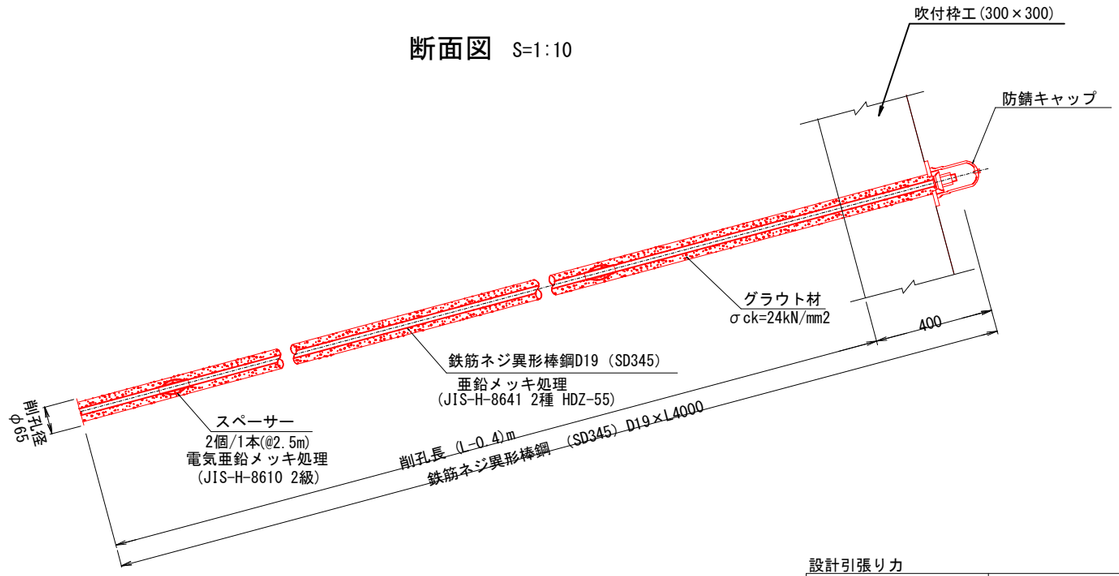
路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	緑化法面求積図		
単　位	m	縮　尺	1：100
令和	8　年度施行	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　8		

鉄筋挿入工(D19×4000)構造図

頭部詳細図 S=1:5



断面図 S=1:10



設計引張り力

	設計引張り力
鉄筋挿入工	18.51 kN/本

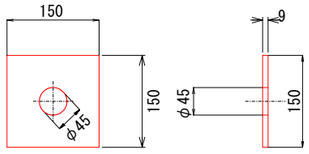
注入材料の配合例

	ポルトランドセメント	水 (W/C)	混和材
重量配合比	1	0.5～0.55	C×(0.2～4.0%)
1m3当たり配合	1,230kg	615～677 L	必要に応じ使用
設計基準強度　σck≧24N/mm2			

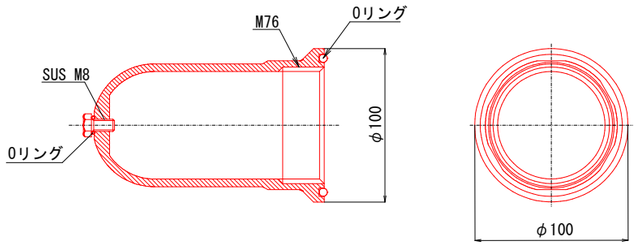
※（社)全国特定法面保護協会「ロックボルト工積算資料(参考)

定着プレート S=1:5

亜鉛メッキ処理
(JIS-H-8641 2種 HDZ-55)

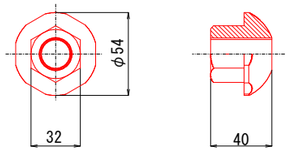


防錆キャップ（アルミ製） S=1:2



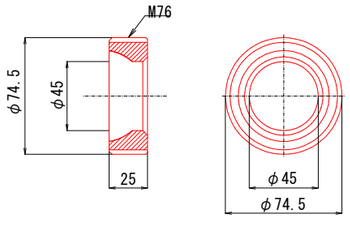
コマナットD19用 S=1:2

亜鉛メッキ処理
(JIS-H-8641 2種 HDZ-35)



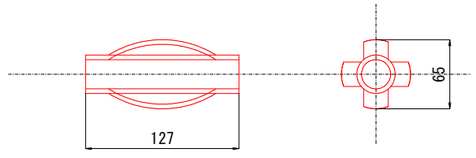
ネジ付き球面ワッシャー S=1:2

亜鉛メッキ処理
(JIS-H-8641 2種 HDZ-35)



スペーサー詳細図 S=1:2

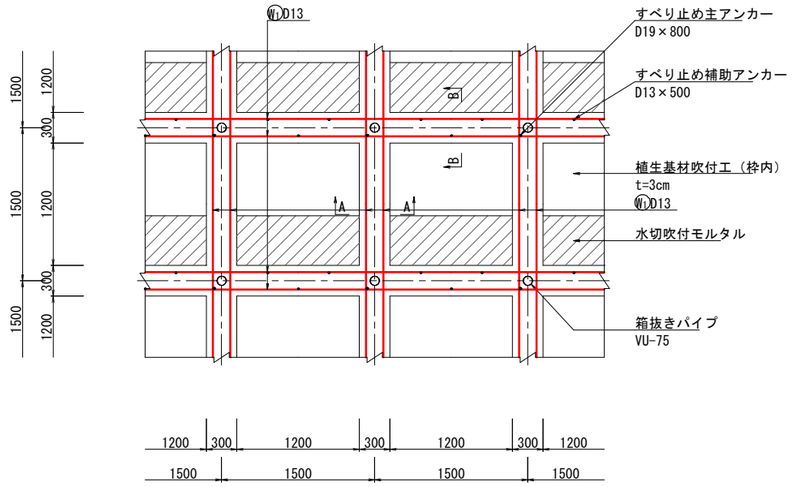
電気亜鉛メッキ処理
(JIS-H-8610 2級)



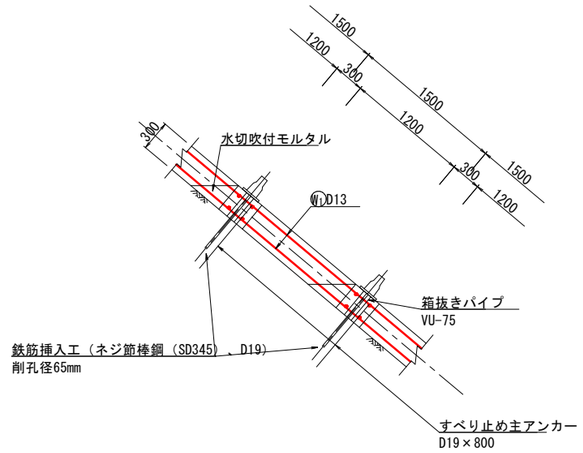
路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	鉄筋挿入工(D19×4000)構造図		
単　位	m,mm	縮　尺	図示
令和	8　年度施行　　鳥　取　市		
図　番	全　15　葉中　9		

吹付枠工(300×300-1500×1500)構造図

標準配筋図 S=1:30



標準断面図 S=1:30



鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋	直径(mm)	重ね継手長さ(mm)
D13	12.7	460

※1. 鉄筋表数値は、SD345(σsa=196N/mm2)で算出した継手長を示す。

※2. 鉄筋は、SD345同等品以上とする。

鉄筋の継手について

1.継手は枠の交点をさけ、一断面に集中しないよう相互にずらすものとする。

2.鉄筋の重ね合わせは、上下方向とする。

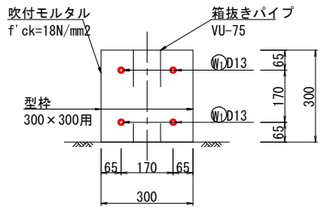
吹付枠工 配合例

水セメント比(%)	単位量 (kg/m3)		
	セメント	水	細骨材
	C	W	S
55	420	231	1550

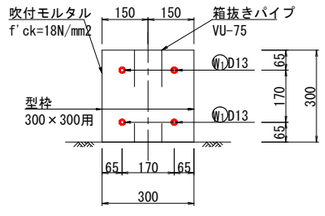
注1：配合については、(社)全国特定法面保護協会「のり枠工の設計･施工指針(改訂版) H25.10 付12」を参考とする。

注2：設計基準強度で、18N/mm2 以上となるようなセメントおよび水の使用量を決定する。

A-A 断面図 S=1:10



B-B 断面図 S=1:10



現場吹付法枠工構造図（300×300×1500×1500）材料表

種別	規格	計算式	単位	数量	
				枠長16.20m当たり（法面13.50m2当たり）	枠長1000m当たり
主鉄筋	D13	W=(3.000m/本×4本×3+4.500m/本×4本×2)×0.995kg/m	kg	71.64	4422
すべり止め主アンカー	D19×800	N=6本	本	6.00	370.4
すべり止め補助アンカー	D13×500	N=3本/スパン×6スパン	本	18.00	1111.1
吹付モルタル	f'ck=18N/mm2	V=0.300m×0.300m×16.200m	m3	1.458	90.00
型枠	300×300用	L=16.200m	m	16.20	1000.0
箱抜きパイプ	VU-75	L=0.3m/箇所×6箇所	m	1.80	111.1
水切吹付モルタル	σck18kN/m2	V=(0.300×0.486/2×1.200)m3/箇所×6箇所	m3	0.525	32.41

備考

縦枠長 = 3.000m/本×3本 = 9.000 m

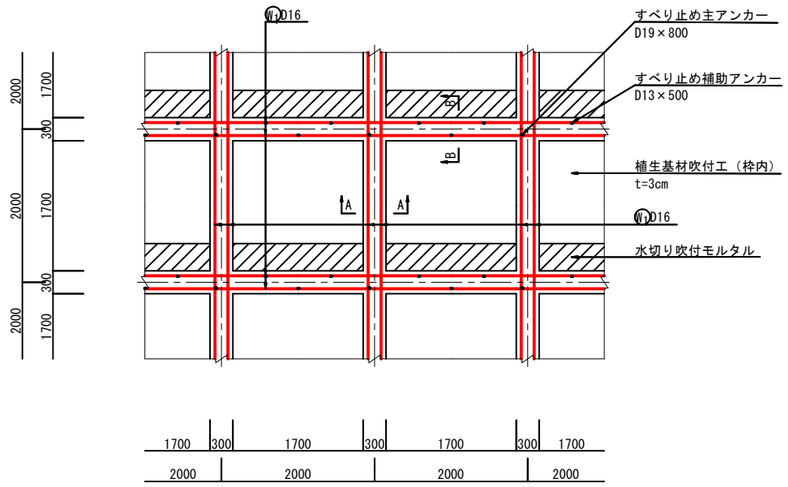
横枠長 = 4.500m/本×2本 - 0.300m/箇所×6箇所 = 7.200 m

枠長 = 9.000m ＋ 7.200m = 16.200 m

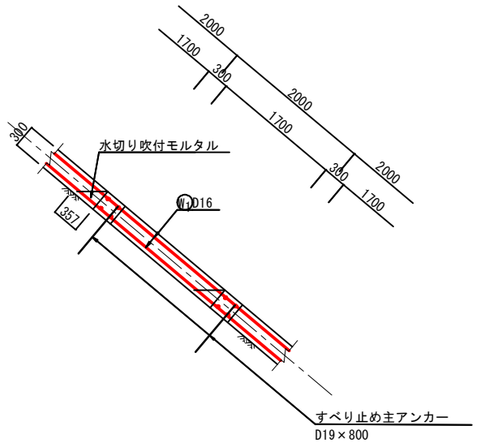
路線名	市道 金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事（その２）		
位置	鳥取市 瀬田蔵 地内		
図名	吹付法工(300×300-1500×1500)構造図		
単位	m,mm	縮尺	図示
令和	8 年度施行	鳥取市	
図番	全 15 葉中 10		

吹付枠工(300×300-2000×2000)構造図

標準配筋図 S=1:40



標準断面図 S=1:40



鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋	直径(mm)	重ね継手長さ(mm)
D16	15.9	560

※1. 鉄筋表数値は、SD345(σsa=196N/mm2)で算出した継手長を示す。

※2. 鉄筋は、SD345同等品以上とする。

鉄筋の継手について

1.継手は枠の交点をさけ、一断面に集中しないよう相互にずらすものとする。

2.鉄筋の重ね合わせは、上下方向とする。

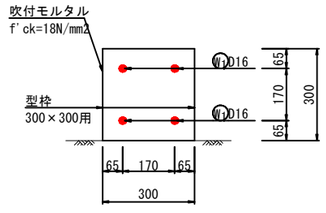
吹付枠工 配合例

水セメント比 (%)	単位量 (kg/m3)		
	セメント	水	細骨材
	C	W	S
55	420	231	1550

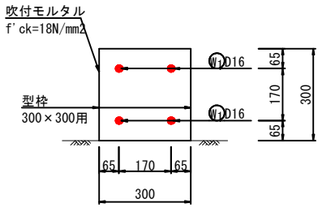
注1 : 配合については、(社)全国特定法面保護協会「のり枠工の設計-施工指針(改訂版) H25.10 付12」を参考とする。

注2 : 設計基準強度で、18N/mm2 以上となるようなセメントおよび水の使用量を決定する。

A-A 断面図 S=1:10



B-B 断面図 S=1:10



現場吹付法枠工構造図（300×300×2000×2000）材料表

種別	規格	計算式	単位	数量 (枠長22.20m当たり (法面24.00m2当たり)	数量 枠長1000m当たり
主鉄筋	D16	W=(4.000m/本×4本×3+6.000m/本×4本×2)×1.560kg/m	kg	149.8	6748
すべり止め主アンカー	D19×800	N=6本	本	6.00	270.3
すべり止め補助アンカー	D13×500	N=3本/スパン×6スパン	本	18.00	810.8
吹付モルタル	f'ck=18N/mm2	V=0.300m×0.300m×22.200m	m3	1.998	90.00
型枠	300×300用	L=22.200m	m	22.20	1000.0
水切り吹付モルタル	σck18kN/m2	V=(0.300×0.357/2×1.700)m3/箇所×6箇所	m3	0.546	24.59

備考

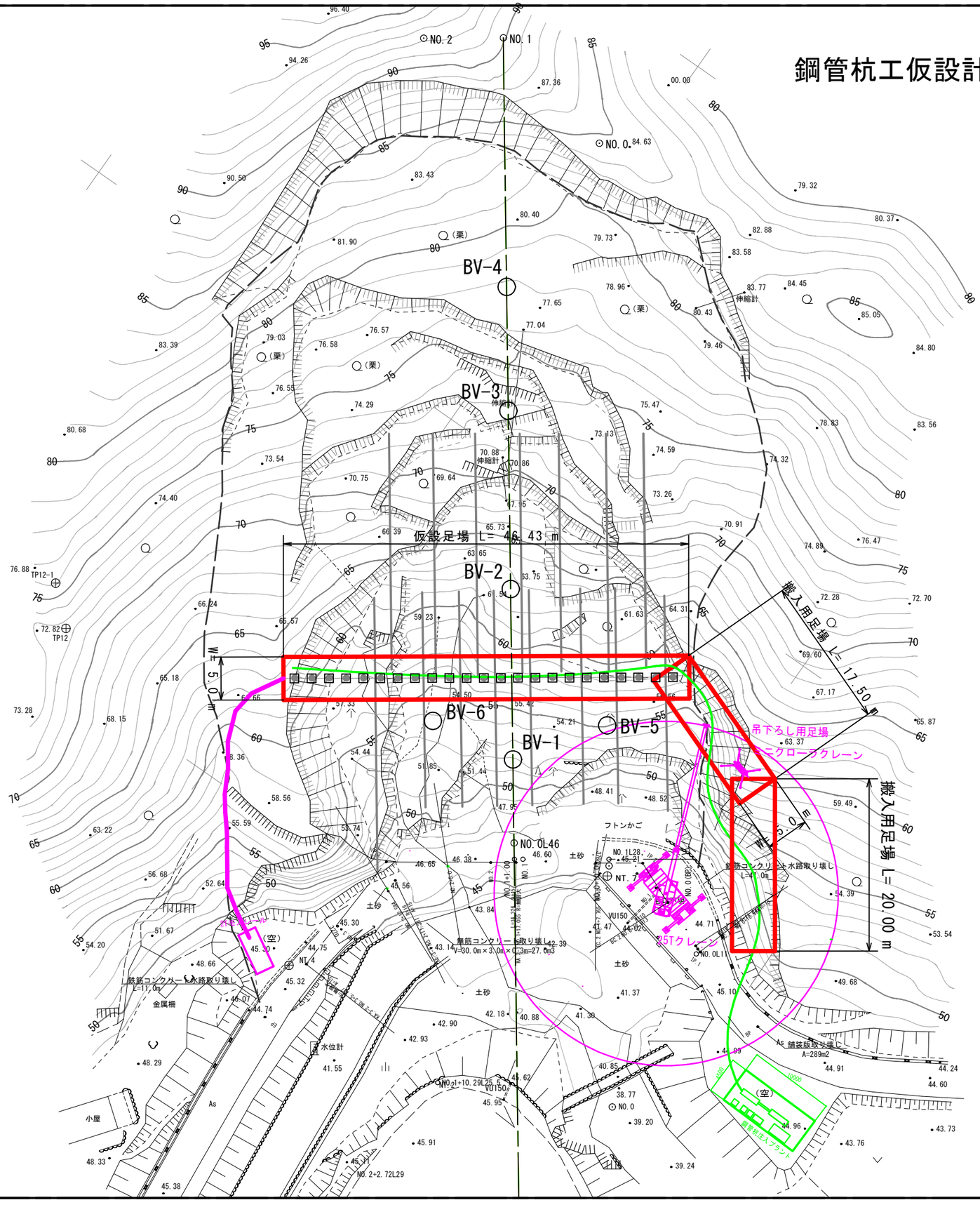
縦枠長 = 4.000m/本×3本 = 12.000 m

横枠長 = 6.000m/本×2本 - 0.300m/箇所×6箇所 = 10.200 m

枠長 = 12.000m + 10.200m = 22.200 m

路線名	市道 金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 (その２)		
位置	鳥取市 瀬田蔵 地内		
図名	吹付法工(300×300-2000×2000)構造図		
単位	m,mm	縮尺	図示
令和	8 年度施行	鳥取市	
図番	全 15 葉中 11		

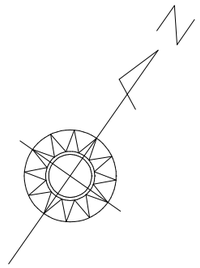
鋼管杭工仮設計画図(参考図)



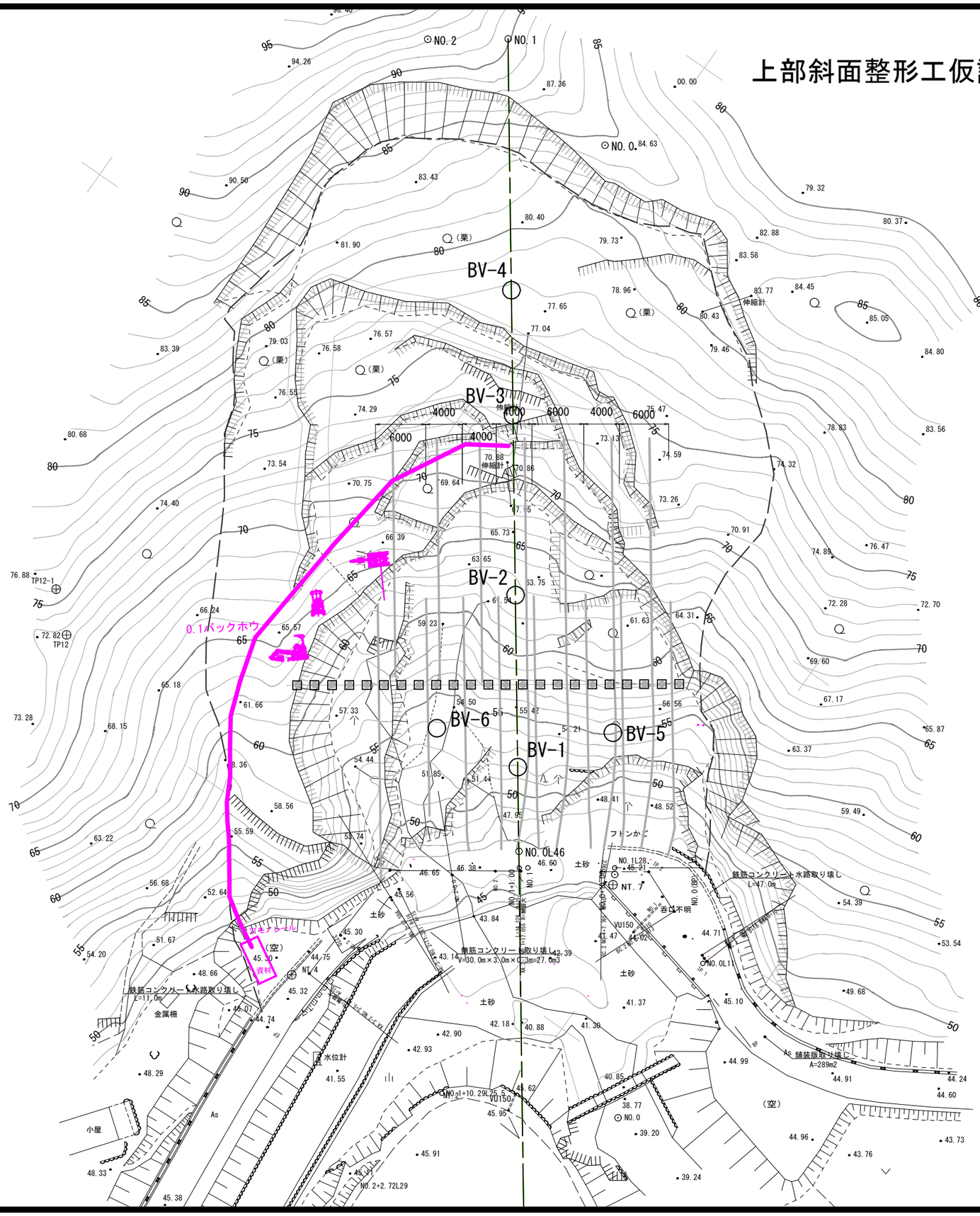
(A1) S=1:250
(A3) S=1:500

路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 (その２)		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	鋼管杭工仮設計画図(参考図)		
単　位	m	縮　尺	1：250
令和	8　年度施行	鳥　取　市	
図　番	全　15　葉中　12		

上部斜面整形工仮設計画図
（参考図）

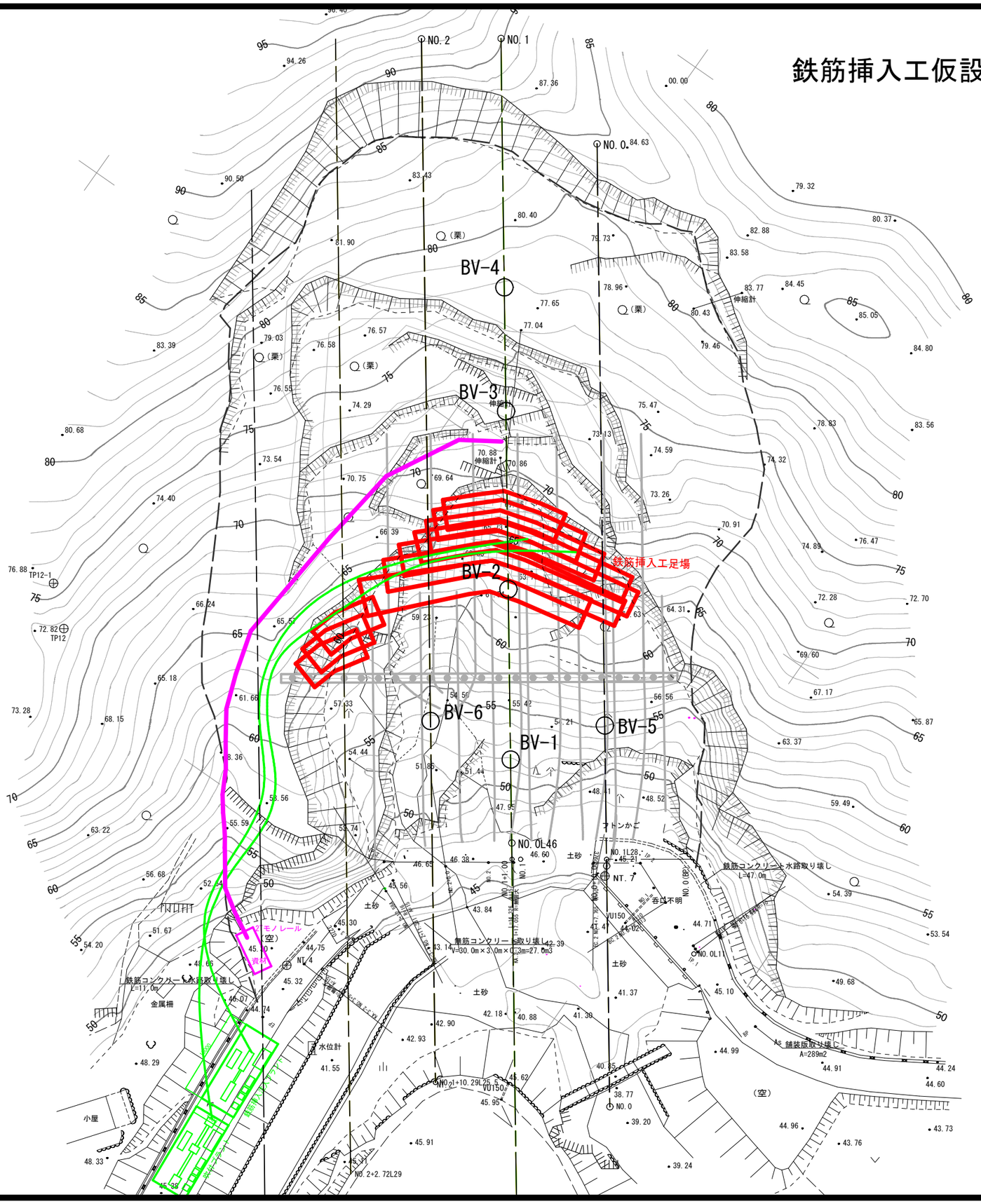


（A1） S=1:250
（A3） S=1:500



路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 （その２）		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	上部斜面整形工仮設計画図（参考図）		
単　位	m	縮　尺	1：250
令和	8 年度施行	鳥　取　市	
図　番	全 15 葉中 13		

鉄筋挿入工仮設計画図(参考図)

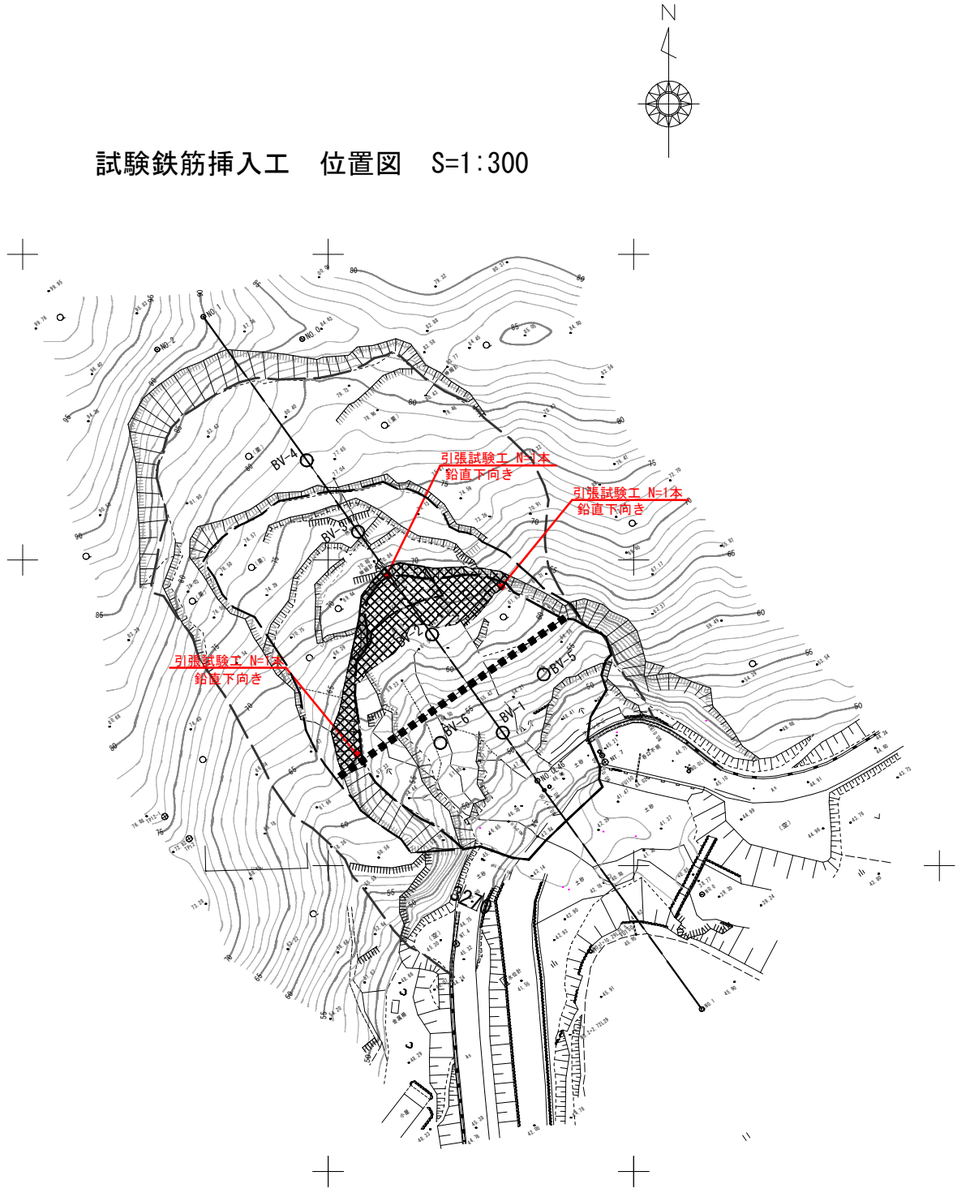


(A1) S=1:250
(A3) S=1:500

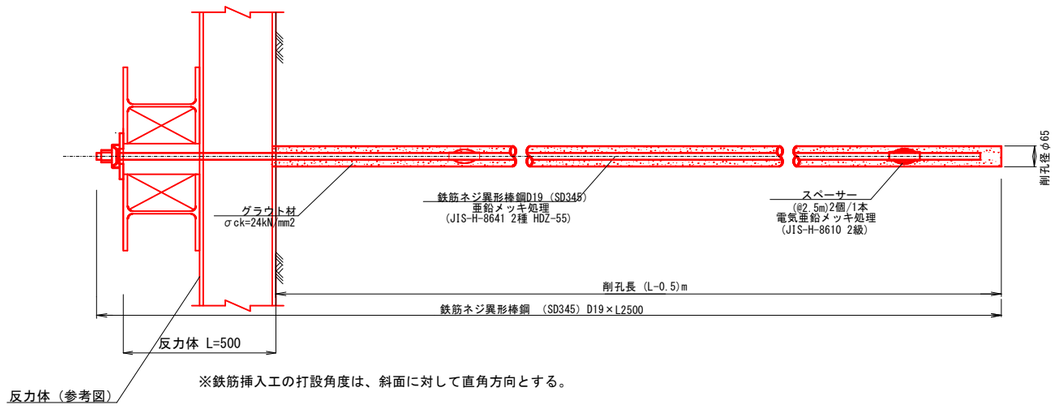
路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 (その２)		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	鉄筋挿入工仮設計画図(参考図)		
単　位	m	縮　尺	1：250
令和	8 年度施行	鳥　取　市	
図　番	全 15 葉中 14		

鉄筋挿入工(D19×2500、Φ65)引抜試験工　(参考図)

試験鉄筋挿入工　位置図　S=1:300

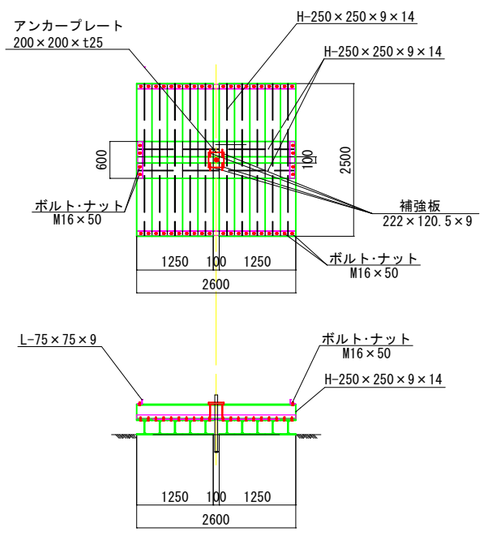


断面図　S=1:10 (A1)　S=1:20 (A3)



※鉄筋挿入工の打設角度は、斜面に対して直角方向とする。

アンカー引抜試験工反力板　S=1:50
(参考図)



荷重条件　設計τp=0.08N/mm2

	設計引張り力(補強斜面)
鉄筋挿入工	14.39kN/本
試験荷重	20.6kN/本 (最大51.4kN)

注入材料の配合例

	ポルトランドセメント	水 (W/C)	混和材
重量配合比	1	0.5～0.55	C×(0.2～4.0%)
1m3当たり配合	1,230kg	615～677 L	必要に応じ使用
設計基準強度　σck≧24N/mm2			

※(社)全国特定法面保護協会「ロックボルト工積算資料(参考)

鋼　材　表

種　別	規　格	単位	数量	単位重量	重量 (kg)
H形鋼	H-250×250×9×14	m	30.2	71.8 kg/m	2168.4
等辺山形鋼	L-75×75×9	m	6.4	9.96 kg/m	63.7
補強板	R-222×120.5×9	枚	4	1.89 kg/枚	7.6
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	M16×50	組	56		-

計=2239.7kg

路線名	市道　金沢瀬田蔵線		
工事名	令和６年災第２号 市道金沢瀬田蔵線道路災害復旧工事 (その２)		
位　置	鳥取市　瀬田蔵　地内		
図　名	(参考図) 鉄筋挿入工(D19×2500)引抜試験工		
単　位	m,mm	縮　尺	図示
令和	8　年度施行	鳥　取　市	
図　番	全 15 葉中 15		